大正十二年五月一日發行（月一回一日發行）

The Society of Manchuria.

滿洲之社會



五月號

第壹卷第九號

資本金 八千萬圓
拂込濟資本金 五千萬圓
積立金 壹千五拾四萬圓

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務竝朝鮮、滿洲及亞港ニ於テ日本銀行代理店事務ヲ取扱申候

本店 朝鮮京城南大門通
振替貯金口座 京城三三三番

朝鮮銀行

總裁 美濃部俊吉

支店出張所

內地 東京、大阪、神戸、下關
朝鮮 釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、清津、會寧
滿洲 大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天新市街、鐵嶺、開原、四平街、鄭家屯
長春、吉林、安東縣、龍井村、哈爾賓、傅家甸
支那 上海、青島、天津、濟南
露領 浦潮斯德 亞港
米國 紐育

右ノ外倫敦、巴里其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

滿洲之社會＝第壹卷第九號《大正十二年五月號》

●設　立　明治四拾壹年壹月

●資本金　貳千萬圓　◎定期預金利子

●拂込濟資本金　九百五拾萬圓　（一ヶ年）七分

●諸積立金　貳百貳拾七萬五千圓

大連市大山通十四番地　電話代表番號七一二一番　振替貯金（大連）三三〇番

日支合辦　株式會社　**正隆銀行**

頭取　安田善兵衛

顧問　安田善次郎

●當行は安田貯蓄銀行の代理支店として一般貯蓄預金を御便利に取扱申候

●當行は日本內地、朝鮮、南北滿洲、支那內地に於て約二千の爲替取引先を有し候

●當行は關東州地方費現金並に大連市金庫事務取扱致候

●當行は臺灣銀行と特約を結び外國爲替取扱致候

支店（所在地）旅順、營口、奉天、撫順、開原、四平街、長春、鄭家屯、錦州、天津、青島

派出所（所在地）大連市小崗子（電話五七四）、奉天城內

大連市濱町

滿洲船渠株式會社

本社營業所
大連市山縣通加藤ヒルヂング内
電話五八五三番

旅順工場

旅順東鄉町

電話（四 一 八〇 番番）

大連工場

大連市濱町四十五號地

電話（長四七一〇番 四九六五番）

輸出入倉庫、土木、建築、保險及諸代理

大連市山縣通一六三

FC

福昌公司

電話代表番號　七一七一番

振替貯金口座大連一〇六〇番

出張所

大阪、神戸、青島、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、錦州、其他

倉庫部

一般倉庫業務取扱

大連市摩耶町十一番地
電話六〇六三番

保險

大阪海上火災、日本共立火災、豊國火災、ゼノースブリチツシユ、エンド、マーカンタイル各保險會社代理店



第壹卷第九號

日本の文化

日本の文化は漢土の儒學に化せられ、次いで印度の佛教に化せられ、明治王政維新以後は歐米の科學、宗教、藝術等に化せられつゝあり。併し日本の文化にオリジナリチーなしと言ふは謬まれり。儒學及び佛教渡來以前の約九百年間、即ち神武天皇より神功皇后攝政當時までは、何等外來文化の之なかりし時代にして、而も一種特別の文化を有したり。之を以て能く隋唐の輸入文化を消化し、また能く印度の佛教を咀嚼し、而して之を大成したり。

歐米輸入の文化は未だ消化し切らず。殊に近來は各種の新學說頻繁に輸入せられ、それが時代の眩しき變化と共に、殆ど應接に遑なき有様にて、之が爲めに一段の混亂と動搖を招來せり。是れ當に文化の一大過渡期なり。此間種々の變體現象を生ずるは怪しむに足らず。謂ゆる二重生活も三重生活も要するに過渡的文化時代の當然の結果に外ならず。之を經由し、濾過し、陶冶して始めて融合同化の大成期に達すべく、而もそは一に時の問題のみ。

着物なるもの、疊なるもの、下駄なるものは、日本特有の產物にして、隨つて頗る非世界的のもの也。コスモポリタリズムとは相容れざることと言ふ迄もなし。されど斯る非世界的なる特有物を產出したる所に日本獨特の固有文化力の宿れることを忘るべからず。刀劍や將た甲冑や、今は全く用を爲さゞるも、是等も日本固有文化の一產物なり。日本の文化を模倣、直譯、請賣のみと做すは甚だしき誤謬にして、歐米文化もやがて大成の期到來せん。

滿洲之社會　第壹卷第九號　大正十二年五月發行

滿洲及び日本の勞働界

英人ローワビーは嘗てその滿洲觀を發表し、その中に『滿洲の日本人は少數で、而も同志打共喰ひをやつてゐる爲め、支那人側に斬込めず、却つて支那人から斬込まれて居る、滿洲は遂に支那人の滿洲である』と言つた。外人の日本觀、支那觀、滿洲觀には隨分見當違ひのものもあるが、此の觀察は慥かに事實に適中して居る。滿洲の日本人は今猶ほ二十萬内外で、太した減少もせぬ代りに、太した增加もせず、何時も同じやうな處をうろ付いて居るに引換ゑ、滿洲の支那人は年毎に增加しつゝある。日本人がいかに悶ゑても支那人の移住發展力には及ばない。滿洲は確かに支那人の滿洲である。

元來滿洲は女眞族即ち滿人の本土であつて、それが建州女眞、海西女眞、野人女眞などに分れ、一部は豆滿江、鴨綠江を越ゑて北朝鮮に移住し、一部は松花江、黑龍江、烏蘇里江の各上流地域に居住した。然るに明朝亡びて清朝となるや、滿洲の女眞族は支那本部に移住して漢人化し、女眞族の本土たる滿洲には多數の漢人が移住し、遂に滿洲を擧げて漢民族の天地として了つた。滿清朝廷は漢人種のために清朝發祥の地を汚さるゝことを喜ばず、之を化外の地となし、封禁政策に依つて堅く門戸を閉鎖せんとしたのであるが、移住發展力に富める漢人種は、その封禁政策を物ともせず、先づ山海關を迂廻して北滿長春に出で、そこを中心として南北滿洲より蒙古に發展し、鍬と鋤と珠盤を以て滿洲を全然漢民族の社會としたのである。其の漢民族は主として燕魯山東地方の者だ。流石の清國政府も此の民族移住の大勢に抗すべからざるを知り、移民墾

耕の法を設け、其後は寧ろ進んで漢民族の滿洲移住を奬勵した。ロマノフ王朝の露國が滿蒙を自由に搔廻した謂ゆる露治時代にも、支那人は山東地方より嚮背相踵いで滿洲に押寄せ、その一部は雪崩の如く露領西伯利に移り、一時露國の極東總督として威武を輝かしたゴンダッチ將軍をして支那人排斥を敢行せしめた程であつたが、斯くても彼等の發展は熄まず、流石の武斷主義者たる將軍も匙を投げた。雜役夫たる苦力の多くは雁去燕來的なるも、其の一部は農民として土着し、他の一部は商民として居住し、堅忍力行、民族獨自の力で何處までも根强く發展する。日本の勢力が滿洲に伸びてからも、其の經濟政策、其の文化政策の進展に伴ふて支那人の移住は益々多きを加へ、年々非常な勢を以て增加しつゝある。

數と量とが優つて居ても、質に於て劣つて居れば、それは勿論優勝者となれない。クアンチテートだけでクアリテートが無ければ、如何に多數であつても、そは雜草の如く、將た瓦礫の如く、單に量が多いと云ふのみで、格別の價値はない。英人ローワビーの言の如く、數と量との優れる點において、滿洲は正しく支那人の滿洲であるが、滿洲の產業、滿洲の商工業、滿洲の文化は、資力と智力といふ質の力によつて開發促進せらるべきもので、此の質の力を具ねたものは我々日本人である。北滿地方と內蒙古方面の開發はまだ極めて不十分であるが、南滿洲が今日の如く經濟的にも文化的にも著しく進步したのは、日本の優秀なる質の力に據つたものである。鐵道船舶等の交通機關、電信電話等の通信機關、それから金融機關、取引機關等、夫等が從來支那人の手に依つて全然閑却されて居たといふのでは無いけれども、頗る幼稚未熟のもので、それが科學的組織的になつたのは、日本人の力が滿洲に伸びてから以後のことである。卽ち南滿洲の開發は主として日本の質の力に據つたものである。近來奉天の支那官憲は文化施設に骨を折つて居るやうだが、まだ黎明期のもので幼稚園時代に過ぎない。南滿洲を更らにヨリ以上開發するにも、進んで未開地多き北滿洲及び

内蒙古を開くにも、クアンチテートの優つた支那人の勞働力に待つところ固より多大ながら、一面クアリテートの優秀なる日本人の智力と資力とに據らねばならぬのである。

併し乍ら漢民族たる支那人の移住發展力の旺盛なることゝ、土着者の多いことゝ、生活程度が低く隨つて勞働賃銀の安いことゝは、彼等の强味である。雁去燕來的の山東苦力も、滿洲の產業開發には須臾も缺ぐべからざる一要素であつて、彼等の或者は炭坑夫、或者は鐵道現業員、或者は雜役夫となり、孜々營々骨身を吝まず働いて居る。滿洲における日本人が依然として二十萬人程度の間をうろ付いて居るのは、此の支那人の量の力に打勝てないからで、特殊の技能を要する勞働者を除き、普通の勞働者は之がために何うしても滿洲に入込むことが出來ない。資本家にしても、事業家にしても、賃銀の安い勞働者を歡ぶのは當然であるから、態々賃金の高い勞働者を日本の内地から此の滿洲に呼び寄せる考ははない。斯くの如くにして、農業は勿論、工業にも、鑛業にも、交通事業にも、支那人の方が日本人より遙に多數を占めて居る。單にこれを大連附近について看るも、經營者、管理者、事務員、サラリーマンは別とし、勞働者としての日支人の比例は非常に懸隔し、而もその懸隔が年每に甚だしくなり、日本人は支那人のために益々壓倒され、次第に其の數を減じつゝある。今それを大正十年及び十一年の二箇年間について調べて見ると、大正十年における工業勞働者は日本人五千二百九十七人、支那人一萬二千三百五十七人であつたのが、大正十一年には日本人四千三百十一人、支那人二萬四千七百四十一人となり、交通事業の勞働者は大正十年に日本人八千八百七十三人、支那人二萬三千八百七十人であつたのが、大正十一年には日本人一千七百三十二人、支那人一萬七千三百五十五人となり、前者は支那人の增加殊に著しく、後者は共に減少したるも、其の減少率は日本人の方が甚だしく、而も支那人の方が常に優位を占めて居る。農業に於ける日支人の比例は論外で、支那人の方が絕對的

に多いが、大正十年における日本人の農業勞働者百二十九人が大正十一年には百八十三人となり、差引き十一人を減じたるに引代へ、支那人は大正十年に一萬八千四百三十四人であつたのが大正十一年には一萬九千三百人となり、差引き八百六十六人を増した。大連附近の鑛業は言ふに足らないので、其の勞働者は日支人共に尠いが、此の尠い勞働界においても日本人は支那人に壓倒されつゝある。卽ち大正十年における鑛業勞働者は日本人百二十九人、支那人三十三人で、日本人の方が優つて居たのに、大正十一年にはそれが全然あべこべになり、支那人は百八十名、日本人は僅に二十八名となつた。日本人の最も多く居住する大連附近でさへ此の始末であるから、支那人の多い滿洲奥地における勞働界の實情は推して知るべく、日本人は到底支那人に及ぶべくもない。移住發展力において、永住土着力において、勞働賃銀において、また其の勞働力において、遺憾ながら日本人は如何にしても支那人に敵し難いのである。

商業方面とても樂觀は出來ない。その筋の調査によれば、大正十年における大連附近の商業者は、日本人六千二百四十二人、支那人七千七百二十五人で、支那人の方が一千四百八十三人多いが、大正十一年には日本人六千二百四十五人、支那人九千七百五十八人となつて、日本人が僅に三名増したに引換ゑ、支那人は二千二十五名を増し、支那人の多きこと三千五百五名となつた。此の數は行商人だけか、一般商業者をも含むか其邊少しく明瞭を缺ぐけれども、商業方面も支那人の優勢なること、またそれが年毎に優勢を加へ來れることは、掩ふべからざる事實で、それは大連市中をザッとぶら付いて見ても分る事である。元から支那人商店の多い監部通りは勿論、浪速町にも、伊勢町にも、山縣通りにも、西公園町にも、支那人の商店は近來非常に多くなつた。會社、銀行及び重なる商店等は、主として日本人に依つて經營されて居るものゝ、彼等の多數は投機庶業に耽り、一攫千金を夢み、浮華輕佻に流れ、概して堅實味に乏しい。大正八年から大正九年四

月頃までの投機虛業時代における日本人の狂態は今思つても恐しい程である。之がために多くのボロ會社を濫設し、必要以上に銀行を設け、必要以上に取引所を作り、必要以上に商事信託會社を興し、まだ其の後始末が付かない。尤も本年に入つて銀行の合同が着々行はれ、商事信託會社も整理合同の期に入り、不健全なるボロ會社は自滅の外なき次第となり、漸次過去の惡夢より覺め、幾らか堅實味を加へて來た樣だが、金融界もまだ十分に整理されず、一般日本人社會の狀態は猶ほ落付きを缺いで居る。價格調節の機關たる取引所の如きは殆んど賭博場のやうな觀を呈して居る。小賣商人の多くも堅實味が足らず、動もすれば暴利を貪り一時の奇利を僥倖しやうとするので、薄利多賣主義の支那人に仕て遣られるのである。大連市中の土地家屋も今日は大分支那人の手に移つた。岌々乎として夫れ危いかなだ。

滿洲の勞働界に日本人の割込む餘地が乏しいのは是非もないが、特殊の技能を要する勞働だけは日本人の領域にしたいものだのに、それも近來は着々支那人に侵され、日本人は次第に後退しつゝある。此の數年來滿洲の勞働界に特殊の技能を有する支那人の增加したことも顯著なる事實だ。彼等の增加は卽ち特殊技能ある日本人勞働者の減退を意味するものだ。從來殆ど日本人の領域であつた土木建築界にも支那人の勢力が伸び來り、其の技術必ずしも日本人に劣らず、而も其の請負額が安く、工賃も安く、それで立派に遣り遂げると云ふのだから、日本人の敗退は當然である。普通の勞働に於ても、支那人は次第に訓練を積み、經驗を重ね、勞働の骨法を解して來た樣だ。日本人は既に移住發展力において支那人に劣り、賃銀と勞力の上でも太刀持が出來ないのに、特殊技能を要する智的勞働までも支那人に仕て遣られると云ふ始末では、全く立瀨がない。勞働者も日本人は不眞面目で、金錢浪費の惡い癖があり、それに支那人勞働者の多數が不完全ながら日本語を解するに引代へ、日本人勞働者で支那語を解するもの尠なく、進んで支那語を習得するといふ殊勝

な心を持つたものも少いので、益々支那人に壓倒されるのである。

翻つて日本内地の勞働界を觀るに、都市商工業の發達と共に、人口が都市に集まり、而して其の人口の大部分を占むるものは勞働者だ。日本は世界における屈指の人口增殖國で、而も國土は狹く天然資源は乏しいと來て居るから、其の過剩人口を海外に排泄せねばならぬ。之は今に始まつた事でない。日本は生産過剩國に非ず、資本充實國にも非ず、唯それ人口增殖國である。隨つて日本の最大急務は海外への移植民であるが北米の日本人排斥は依然として熾烈、而して加奈陀も、濠洲も、南北阿弗利加も、堅く門戸を鎖して日本人入るべからずとの制札を建て、比較的移民の適地と言はれた南米諸國にも近來異人種排斥の傾向があり、內國植民地たる北海道は暫らく措き、植民地たる臺灣や朝鮮には土着民が多くて多數の日本人を入込ますことが出來ず、滿蒙は未開地多く隨つて人口移植の餘地があるけれども、上來述べ來つた通り、此處には移住發展力の旺盛な而も賃銀の安い勞力に秀でた漢民族たる支那人が居るため、勞働者たる日本人の發展に適せず發展した日本人勞働者も支那人勞働者のために着々其領域を侵蝕されつゝあると云ふ有樣で、肝腎な移植民は八方塞りだ。支那本部も南洋諸島も同じ事情の下に置かれて居るので多數の日本人を移植する譯に行かない。斯くして日本の內地、殊にその都市には人口が過群密集し、人口の多數を占むる勞働界は非常なる壓迫と不安を感じて居る。工業が進步し農村が改善さるれば、海外への移植民がヨシ八方塞がりであつても、左のみ心配したものでも有るまいが、今日の日本は事業界の整理時代で、折角芽生ゑした工業は萎縮し、農村は日を追ふて荒廢に赴き、續々失業者を出すといふ有樣だから、實に容易ならぬ場合で、それがまた日本內地の勞働界に一層の不安と壓迫を感ぜしめるは當然避くべからざる歸結である。

そこへ持つて來て、昨年頃から日本內地に支那人及び朝鮮人の勞働者が入込むので、日本の勞働者は一倍

神經を尖らせて居る樣だ。資本家、事業家は元來勞働賃金の低廉を欲する、況や金融界及び事業界の整理縮少を要する今日、生産費減少の一法として、從業員並に勞働者の淘汰減員以外、更に勞働賃金の引下げを欲して居る。然るに物價はまだ十分下らない、物價が下落して一般の生活が安定しない以上、無暗に勞働賃金を下げることは出來ない、强いて勞賃引下げを斷行すれば、必然そこに勞働團體を中心としての同盟罷業が行はれる。最近英國に現はれたノーフォークにおける農業勞働者の同盟罷業、マバチーンに於ける漁夫の罷業、約五十萬人より成る建築勞働界の爭議、サザンプトンに於ける汽船工組員の罷業、ウェールス地方に於ける炭坑夫の爭議等、何れも賃金引下げが主要原因らしいので、日本の資本家、事業家は大事を取つて居る大事を取ると共に、機宜の便法として賃銀の安い勞働者を歡迎する。斯うした事情が支那人又は朝鮮人の筋肉勞働者を日本內地に入込ませるのではあるまいかと思ふ。支那の行商人が安價なる雨傘など携へて日本の市場に侵入したのは日本の物價と工賃が高くなつた間隙に乘じたのである。移植民が八方塞がりで外へは出られず、人口は益々增殖して內は愈々行詰まる、失業者は續出する、斯うした場合に賃銀の安い勞働者に入込まれては、日本の勞働界に益々脅威と不安を感ぜしむるは當然である。

且夫れ此の支那人の日本入國は日本に自家撞着の不合理なる措置を執らしむるを餘儀なくせしめた。支那人の日本入國については勅令によつて制限が設けられてあるので、此の勅令の規定に依り、政府は昨年中東京、神戶及び名古屋に入込んだ支那人筋肉勞働者を追立てた。大阪でも近く斷行するさうだ。人口過剩にして國土は狹少、移植民は振はず、失業者續出し、內は行詰まり、勞働界に不安の空氣が漲る今日、他國の勞働者を入れる餘地はない。此の實際の事情から云へば、支那人勞働者の追立ては洵に萬已むを得ない事であるが、苟くもヴェルサイユ會議に人種平等案を提出した日本として、また北米加州その他の邦人排斥に憤慨

しつゝある日本人として、他國の移民を排斥すると云ふは、慥に自家撞着であり不合理である。警視廳が昨年中東京附近における支那人勞働者に追立てを喰はした時、忽ち言論界の一問題となり、支那の言論界も之を非理無道として攻撃した。日本の現狀は實際難局に立つて居る。

種々のジレンマは之から起るのだ。此のジレンマをコントロールせんと欲せば、外に對する移植民政策に改善を加へ、内に對する社會政策を徹底的に實行し、内外相俟つて積極的に進むの外ない。然るに移植民政策は相變らず煮え切らず、社會政策も極めて不徹底で、社會事業資金に充つべき造幣益金一億二千萬圓の特別會計法案は議會で握り潰され、住宅組合法の姉妹法とも云ふべき住宅會社法案は幽靈化し、内務省の外局となつた社會局の活動隨つて思はしからず、萬事お座なり流儀であるのは寔に以て心外千萬である。内外共に非常な難局に立つて居る日本の現狀を思ふて吾等は無量の感慨に堪えない。

今や我帝國にも社會革新の思想と社會革命の思想が年毎に濃厚を加へつゝある。思想界は現實界よりも進歩して居る、此の潜運默移しつゝある思潮の流れに注意せず、或は之を輕視し、或は之を蔑視すれば、早晩一決裂を見ずんば已まぬであらう。殊に勞働界の前途には最も注意を要する。支那の勞働界も南から北へと漸次覺醒の氣運が動いて居るから、此の滿洲とても安心は出來ない。支那の農民は昔ながらの葛天氏の民であつて、且つ農地が大體分地の制となつて居るので、日本のやうな小作爭議は起るまいが、農村問題も社會政策上深く慮るところなくてはならぬ。移植民の八方塞がりに日本の勞働者は海外に十分發展されず、前段に述べた通り、滿洲における日本人勞働者は近來次第に支那人勞働者のために壓倒されつゝあると云ふ有樣だから、日本の勞働界には一段と注意を拂はねばならぬ。（芙峰）

東巷西街

◆國際基督敎聯盟幹事シドニー・エル・ギユーリック博士が日本內地から朝鮮を經て滿洲に來た◆そこで川村滿鐵社長、松岡同理事、張本政、其他數氏の發起で四月十四日夜大連ヤマトホテルに歡迎晩餐會を開いた◆主賓たる博士は宗敎家で無論酒を飮まないから晩餐會は酒無しの曹達水で濟ましたが夫れだけ淸い晩餐會だつた◆會場の入口にも食堂にも日米國旗を交叉しデザートコースに入るや村岡管絃隊に依つて日米國歌が嚴かに吹奏された◆發起人を代表して松岡君が歡迎の辭を述べ博士は巧みな日本語を以て之れに答へ猶ほ米國領事の卓上演說もあつた◆晩餐を終つてから中央溜り間で博士は最も眞面目に最も熱心に世界平和の必要と無戰主義の要諦を論じ一同を傾聽さした◆ギユリック博士は基督敎聯盟の下に世界の平和を圖り國際間に生ずる流言、蜚語、誤解等の黑雲を取除くことに努め殊に日米間の國交親善に誠意を傾けて熱心に奔走して居る◆牧野滿鐵社會課長が東道の役に當り來會者一統に紹介されたが博士は一々叮嚀に名刺を出して挨拶されそして堅く握手をした◆斯うした會には各會社及び銀行の代表者も出席して然るべきで有るのに何時もの顏觸れが餘り見ゑなかつた◆發起人の中には當日內地に出發した人もあつて夫れが缺席したのは是非もないが然うでない者まで缺席したのは遺憾に堪へぬ◆酒飮みの會と云ふと我れ勝に出席するが斯うした眞面目な會には兎角缺席者が多いのは全く日本人の惡い癖だ◆支那人側は發起人の張君初め大分出席した然るに日本人側の謂ゆる代表者なる者が顏を出さなかつたのは面白くない◆無論金儲けには緣のない會合だが开う金儲けに計り執着しては困る日本の實業家も歐米の實業家のやうに宗敎、哲學、藝術に少し心を傾けて欲しい◆我が滿洲社會事業研究會も四邊の雰圍氣が是なので甚だ遣り難い評議員會にも代表者連で顏を出すのは極少數だ◆オツト話が岐路に入つて

餘憤を漏らした形になつたが偖てギ博士の熱心なる平和運動はその深い信仰とそれから基督教の愛に出發したものと認める◆國際聯盟は權威乏しく國際裁判もまだ物に成らず國際間には依然として危機が頻發する◆隨つて各國とも萬一に對する國防の充實を圖らねばならぬ譯で絕對に軍備を撤廢するといふ事は不可能になつて居る◆がそれだけ一方に極力平和主義を皷吹して成るべく戰爭の起らぬ樣に努める必要がある◆さればギ博士の平和論を痴人夢を說くに等しの架空の妄想のと貶すのは好くないことだ◆平和、人道、博愛をモットーとして之を廣く皷吹し宣布するは正しく宗教家の任務で當今の如き鬪爭の多い時代には最も宗教家の活動を要する◆然るに黃人の宗教たる佛教や回教は徒らに惰眠を貪り白人の基督教をして依然世界的に活動せしめて居る◆日本の佛教家は滿洲に來ても日本人相手に葬式を營業とし偶に申譯的の說教をなす位に過ぎないが白人の基督教宣教師は到るところ異民族の教化に努めて居る◆朝鮮にも滿洲にも蒙古にも支那にも南洋の蠻地にも彼等は凡ゆる迫害を忍び困難と鬪つて根氣好く熱心に教ゐを布いて居る◆彼等は鄕に入つては鄕に從への主義で土地の言葉を覺ゐ土地の習慣を究め永住、土着、埋骨の覺悟で奮鬪して居る◆佛教家に此の眞似が出來るか蒙古布教の計畫などした者もあつたが中途半端のそれなりけりと成つて了つたではない乎◆宗教は元來國境を超越し人種民族別を蟬脫したものであるから宗教家は宇宙大の精神を以てコスモポリタリズム的に廣く大きく活動せねばならぬ◆何と云つても此邊はヤハリ基督教が一番豪い後援のお陰もあるが宣教師の異民族教化に熱心なところは實に感心する◆唯物主義のマルクスに出發した勞農露國のソヴエト政府は宗教を排斥して居るが夫れは從來の加特力教が餘りに貴族的であつた爲でもあらうと思ふ◆基督教は赤十字を生み救世軍を生み今又た國際基督教聯盟を生んで平和のために働いて居るのだから豪い。

外來思想の批判〔上〕

先づデモクラシーに就いて一瞥を拂ふ

文學博士　深作安文

今日は以前と較べると社會なり國家なりの事情が餘程變つて居る。其の變り方の人の注意を惹く一つの點は、大戰前には、多くは一人の偉人或は少數の偉人が、社會的に國家的に權力を有して、社會を導き國家を治めて居つた。然るに大戰中から大戰後に掛けては、一人若くは少數者の社會又は國家に於ける指導、支配が餘程その影を薄くし、之に代つたものは民衆、少くも社會的にも國家的にも無名な者である。法律的には何の某と云ふ姓名を有つて居るが社會的なり國家的なりには名の無い者である。勿論之を指導し統率するものはヤハリ少數であらねばならないが、其の無名の民衆の力が主となつて從來の一人若くは少數者に代つて重要な役割を社會的、國家的に演ずる樣になつた。何故に無名の民衆が此くの如き勢力を得て來たかと言ふと其の主なる理由は、彼等が思想なるものを挾んで結束するからである。

そこで、彼等民衆の要求する所が全部合理的であるとは言へないが、兎に角一人若くは少數者では到底貫

き得ざるものを多數を恃んで貫こうとする。此時に際して彼等を支配するものは民衆中心の思想である。以前は思想と言へば、專門家が研究するに止まり、學者の中でも哲學に關係あるものが之を研究して居たに過ぎない。然るに今日は政治家と言はず、軍人と言はず、實業家と言はず、外交官と言はず、總て其の職務を圓滿に遂行する爲めには、此思想を解さなければならぬ事になつた。此に至つて我等は時勢の推移の餘りに急激なるに驚かされるのである。我等は確かに一大驚異の時代に生きつゝあると思ふ。

今日の外來思想は實に種々雜多である。之を詳言すれば餘程長いものになるから、茲には掻い摘んで其の概要だけを述べる事にする。先づ最初にデモクラシーに就いて說いて見やう。デモクラシーは一時全世界を震撼し、日本の思想界をも風靡したが、昨今の日本の思想界では、最早之を口にする人も筆にする人も尠ない。蓋し日本民族の一の弱點として、新しいものを非常に好くけれども、其者の根本的研究に關しては多くを盡さず、早くもそれに飽いて他の新しいものを迎へる。デモクラシーに就いて邦人が果して幾許の根本的研究を遂げて居るかと云ふことは疑はしい。日本民族は慌ただしくデモクラシーを迎へ又慌ただしく之を送つて了つた。而かも安んぞ知らん、現今歐米ではデモクラシーが依然社會改造の中心勢力を占めて居るから先づ此デモクラシーを解することが世界思潮を解する上において頗る必要である。我國では今日デモクラシーを筆にする人、口にする人は減じたが、然し民衆的精神は到る處に磅礴して居つて、例へば各自の臺所にも、官廳の小使室にも、其他到るところの隅々にも、デモクラシーの精神が潜在し活動して居る。それ故に外來思想の批判にに先づ此のデモクラシーから入るのが順序である。

然らばデモクラシーとは如何なるものかと言ふに、學問でもなく、宗教でもなく、道德でもない。若し學問ならば學者の著書を繙けば解る。宗教ならば經典を見れば解る。道德ならば經典を讀めば解る。然るにデ

モラシーは學問、宗教、道德ではなく、烏渡把へ惡いものである。人に依り國に依つて其の說方も一致しない。それで自分は次の樣に言つたならば大體デモクラシーの意味を盡すことが出來ようと考へる。自由と平等とは人類の生れながら得て居る權利なりと斷じて、之をば多數の力に依つて吾人が生活の諸方面に實現せんと欲する精神及び其の努力、それがデモクラシーであると思ふ。再言すれば、デモクラシーは自由と平等とを以て人間生得の權利なりと爲すも、此の權利をば多數の力に依つて人類生活の諸方面に實現せんとする精神及び努力である。然らば其の自由は何人の自由であり、其の平等は何人の平等であるかと言ふに、それは君主の自由平等でもなく、富豪貴族の自由平等でもなく、要するに一般民衆の自由平等である。それ故にデモクラシーは之を邦語に譯すれば民衆主義と言ふのが肯綮を得てゐる。

此の民衆主義が政治生活の方面に現はれると政治的民衆主義なるものを生ずる。人類生活の一方に政治生活と云ふものがあるので民衆主義がこの政治生活に現はれると政治的民衆主義となるのである。然らば政治的民衆主義は如何なる主張を有するかと言ふと、人は元來自由であり、平等であるから、一人の者が一國統治の主權を握つて居ると云ふことは道理に合はない、又少數の優者が政權を握つて居ることも道理に合はない、道理に合ふ政治の樣式は一般民衆が主權を握つて居る場合である、一般民衆を擧げて悉く主權者である場合である、と云ふのが政治的民衆主義の思想である、現今米國や佛國に於て行はれて居る所の政治がそれである。併し之れは我々日本人の鵜呑みにしてはならぬ思想である。

次に民衆主義が吾人の社會生活に現はれると社會民衆主義となる。其の主張は如何と問ふと、眼前の社會吾人の生きつゝある社會を見るに、富豪の階級、權力家の階級と云ふ樣な種々の階級があり、そして或階級は特權を有し、その特權の或物は世襲的になつて居る、父から子、子から孫と云ふ樣に傳へられて居る。そ

れでは自由なるもの平等なるものゝ生きる場所がない。又さう云ふことは甚だ不合理である。故に社會から階級を取り除かなければならぬ、社會から世襲的特權を取り去つて了ひ、そして無階級の社會、無特權の社會を構成しなければならぬ、と云ふのが社會民衆主義の主張である。

民衆主義は吾人の產業生活の方面へも實現される、生活に必要なる物質を作り出す方面にも現はれる、其時には產業的民衆主義となる。之は如何なる議論を爲すかと言ふと、今日の產業組織は企業主、資本家なるものが富を得る樣に出來て居る。然るに物資の生產に當るものは企業主でなく、資本家でもなく、實際生產に與かる者は勞働者である、手を黑くし、足を黑くし、面を黑くし、まかり間違へば機械に生命を奪はれる危險を冒して勞務に服しつゝある勞働者である。然らば其の勞務は果して正しく酬ひられつゝある乎、生命を犧牲にする程の危險や困難を冒して勞務を服して居る勞働者は果して酬ひられて居るかと言へば、決して酬ひられない。賃銀制度なるものがあつて報酬に限りがある。然れば今日の產業組織は富の分配の上に如何にも公正を缺いで居る。生產の實際に與からざる者が富の過半を取り、それに與つて居る者は極めて少額の報酬しか得られない、則ち富の分配が甚しく公正を失して居る。此故に吾人は今日の產業組織を作り替へて企業主、資本家をして喙を容れさせない樣に其の產業組織を改めなければならぬ。苟くも產業組織を改めんとするには產業界から資本主及び企業主を驅逐しなければならぬ。之れが產業的民衆主義の主張である。所謂ストライキやサボタージュの思想的根底は爰に存するのである。

民衆主義は又吾人の文化生活の方面にも現はれる、其時には文化民衆主義となる。文化的民衆主義は分れて敎育と藝術の二方面に現はれるが、先づ前者から說かう。社會を形作つて居る人の中、或人は社會なるものに就いて明確なる觀念を有し、社會に對して常に利害の念を持ち、斯うありたい、然うありたいと、對社

會的心配をして居るが、社會の他方面の者は、社會など云ふ觀念が少しも無く、唯自己の利益、自己の生存あるのみで、對社會的の利害心なぞは少しも無い。それでは社會の存立と發展とが旨く行かない。同じ社會に住みながら、一は年中社會を念とするも、他は毫も念としない、却つて中には反社會的行爲に出づる者がある。それではならぬ。之を改めるには敎育の力を以て何人にも社會觀念を扶植し熱心に社會奉仕を爲さしめなければならぬ。斯くすれば社會は十分に存立し發展して行く。之が爲めには下は小學校から上は大學に至るまで其門を何人の子女にも開かなければならぬ。或人は大學へ入れるが他の人は入れないと云ふ樣では行かぬ。何の學校とても同樣に何人の子女をも歡んで迎へる樣にしなければならぬ。則ち機會均等と云ふことを敎育上に適用する。それが卽ち敎育的民衆主義の本領である。

他の一、卽ち藝術上の文化的民衆主義とは如何なるものかと言ふと、從來の藝術なるものは、劇でも、小説でも、其他一般の文學でも、富豪や貴族の娯樂に供せられ、そして彼等の消閑具と爲された。然るに眞の藝術なるものは此の如く生優しいものでない。其の藝術なるものは、之に觸れ之を樂むものをして、人生の眞と美と云ふものを會得せしめるのが其の究極の目的である。藝術の目的は之を享樂する者をして眞の姿の人生を了解させる所にある。それ故に藝術は、劇でも、小説でも、彫刻でも、其の題材をば眞劍の生活を遂げて居る人の側から仰がなくては行けない。日に夜に眞劍の生き方をして居る人から其の題材を求めなくては行けない。藝術なるものは元來さうあるべきものだ。果して然らば、何人が斯る生活をして居るぞと言ふに、それは一般民衆である。富豪に非ず、貴族に非ず、一般民衆が眞劍生活を營んで居る。從つて今後は藝術の題材を彼等の生活から求めなければならぬ、と言ふのが其の主張である。

主なるデモクラシー卽ち民衆主義は上述の四ヶ條卽ち政治的民衆主義、社會的民衆主義、産業的民衆主義

及び文化的民衆主義であるが、進んで之に就いて一亙りの批判を試みて見やう。
第一の政治的民衆主義は主權が民に在ると云ふ主張であるから之は固より日本では採用することが出來ない。日本は云ふ迄もなく君主國體の國家であるから、一國統治の主權は君主の御方に在り、從つて主權が民に在りと云ふ主張は大禁物である。けれども民衆主義の一國の政治なるものは、一人若くは少數者の努力するのみでは十分でない、卽ち國民全體が責任を有たなければならぬと云ふのであつて、之は日本國民に取つては藥石たるものである。政治なるものは國家を形造つて居る所の人總てが甚深なる利害の念を以て之に向はねばならぬもので決して一部分の人に委ねて多數人は沒交涉で可いと云ふ法はない。政治に對する責任は一般的のものであると云ふ考へ方は吾等の政治的民衆主義に學ぶべき所である。然るに此事は明治維新の際或る程度まで實現されて居つた。明治大帝が維新の際廣く會議を起すやう上下心を一にしやうと宣はせられた五箇條の御誓文は政治的民衆主義の精神を十分に言ひ現はし給ふて居る。第三條文武一途庶民に至るまで各其志を遂ぐるやうにと宣ふた箇條の如きは全然デモクラシーの精神である。蓋し國の將に興らんとするや政治に對する自覺、政治に對する責任感は、決して一人若しくは少數者が有つて居るのみで可いと云ふものではない、國民總てが之を有つべきものである。日本國の今日あるを致したのは明治の初頭に此の自覺が人民の頭腦に活躍した爲めであらうと思ふ。そこで士農工商と云ふ階級を御撤廢に相成り、廣く諸藩から有能の士を拔擢し而して維新の大業を成就し給ふたのである。是に至つて明治天皇の御德業は實に我等民衆の感佩し奉つて措かぬ次第である。斯う考へて來ると、對政治の責任を一般的たるべしと云ふは、必ずしも民衆主義に限るべきでない。之は政治學的眞理である。一國の政治には國民全體が利害關係を有つべきであると云ふことが政治上の眞理である。此の眞理を米國ではジョジ●ワシントンが捉へてデモクラシーを建設した

我日本では明治天皇が御捉へになつて明治維新の大業を成就し給ふたのである。

次に社會的民衆主義に於ては、絶對自由、絶對平等と云ふものを振翳して、階級や特權を撤廢しやうとするのであるが、之は如何なものであらう乎。我等の社會生活に絶對平等、絶對自由を實現しやうとする考へは、何うも誤つて居る樣に思はれる。何故かと言ふと人は物的にも心的にも不平等なるを常とするからである。又假りに其等が實現されたとしてもそれは迚も永續しないであらう。其の證據には、是れまで絶對自由絶對平等の實現された國は、歴史上東洋にも西洋にもない。社會的民衆主義の主張は之を空想と謂ふべきである。蓋し此の主義は社會の急激な變化を好む態度であつて全く避くべきものであると思ふ。然らば社會的民衆主義には何等取得が無いかと言ふと、必ずしもさうでは無い。

元來社會的民衆主義は謂ゆる社會主義の一種で、而して其の社會主義には二種類あり、其の一つは社會的社會主義、他の一は社會的民衆主義で、此の社會的民衆主義は階級撤廢、特權打破を叫ぶものである。之が何故起つたかと言ふと、西洋に於ては權力ある者が權力を濫用した時代、國家なり公共團體なりが委ねた權利權力を濫用して人民を虐げた時代、權力者が權力を挾んで下に臨んだ時代、その時代に虐げられたものが平等論に立脚して反抗的に主張する樣になつたのである。抑も權力なるものは國家の委ねたものと又は公共團體の委ねたものとを問はず何れも公的のものである。然るに心なき者は之を私的に捉へて人民に臨む。人民が未だ眼覺めぬ内は問題が起らぬが一旦眼覺めて來ると之に反抗する事となる。そこに平等論が起る。次に社會的社會主義の吾人に與へる教訓は權力は之を私的に捉へてはならぬと云ふ點である。例へば官吏に例を採ると、官吏の有する權力の公的のものであることは、其の官吏が一旦辭職すれば、是までの權力を揮ふことの出來ないので解る。國家にせよ、公共團體にせよ、其の存立と發展とを圖る必要上、其の權利を其の

官吏に與へるのである。それ故その權力は何處までも之を公的に捉へ公的に行使すべきである。之を私的に行使して人民を苦しむるところに卽ち絶對平等の主眼が起るのである。

更に產業的民衆主義なるものは如何と言ふと、今日は富の分配は如何にも公正を缺いで居る、甚だ不合理である、故に宜しく產業界から企業主、資本家を追ひ退けて、勞働者が產業を支配すべきであると言ふのである。併し之は極端に走つた論である。凡て資本と勞働とは何處までも相俟つべきもので、勞働が資本を離れては成立たないと同樣、資本もまた勞働を離れては適當の意味を齎らさない。然るに產業的民衆主義が勞働を重んじ過ぎて資本を呪ひ、之を產業界から驅逐して仕舞はうとするのは、餘りに偏して居ると言ふべきである。此事は此の主張の起つた理由を究むれば理解されると思ふ。

英國には十八世紀末、歐羅巴大陸には十九世紀に產業革命と云ふものが起つた。歐羅巴では中世の產業は家庭で行はれた爲め之を家庭勞働と呼び、又手で品物を作つた爲め之を手工業と稱したが、近世に至り諸種の機械が發明せられ、それが產業方面にも使用せらるゝ事となり、そして工場と云ふものが出來た。是に於て產業の中心が家庭を脫して工場に移り、手工業が變じて機械工業となり、家庭勞働が化して工場勞働となつた。大工場で複雜な機械を据付けて一時に多量の物資を製造することゝなり、從つて物資は激增し、その激增された物資は迚も自國のみにて消費し切れず、販路を諸方面に求めた爲め更に富の回收の激增となつた此の激增した富を懷に收めた者が卽ち資本家となつた。則ち資本階級なるものが此時に出來たのである。彼等は巨額の資本を擁し、大工場に於て複雜な機械を用ゐて物資を製造したから、之が爲め數多の人を雇入れた。之が謂ゆる勞働者である。則ち勞働者階級と云ふものも又此時に起つたのである。然るに資本家は勞働者に對ひ、契約を楯に取つて、時間は成るべく長く、報酬は成るべく尠なく、其他の待遇も成るべく惡くす

る樣になつた。凡そ機械が複雜になればなる程之に關係する勞働者が不具になる、と云ふのは、材料を當てがふ者は每日之れを當てがふ許り、油を注す者は朝から晩まで油ばかり注し、機械を修繕する者は年中その事ばかりして居るからである。此故に勞働者は工場を離れては生存することが出來なくなつた。そこが資本家の乘ずる所である。斯くて勞働者は虐げられた、虐げられた勞働者は非常なる苦みを受け、而してその困り扱いた結果、即ち產業的民衆主義の聲を揚ぐるに至つたのである。

斯樣な次第であるから、產業的民衆主義には何うしても無理な所がある。產業界から資本家や企業主を驅逐すると云ふ樣なことは、如何にも無理な要求で、決して實行し得らるゝ事でない。勞働と資本とは何うしても調和しなければならぬ。勞資協調の主張は單り日本だけに必要なものではない。殆んど總ての文明國は今日皆勞資協調に奔走して居る。勞働偏重は產業的民衆主義の病である。然らば此主義には少しも取得がないかと云ふと、さうでは無く、こゝに一點採るべき所がある。それは勞働問題を解決すべき有力なる方法として雇主が勞働者の人格を承認して之を尊敬する事である。此の主張は確かに良い。元來勞働問題なるものは複雜であつて我等は之に容喙する資格がないが、然し勞働問題を煎じ詰めると敎育問題、道德問題となる則ち勞働者を敎育して彼等の自重心を喚び起さしめ彼等に修養を勸めて彼等の位置の向上を圖らしむる事に歸する。其の之を爲さしめるに就いて最も重要な事は、雇主が勞働者の人格を尊重して、人格に於ては勞働者と雇主と對等であると云ふ考を雇主が有たなければならぬ。從來勞働は商品視された、賃銀を以て勞働は賣買された、金を持つて居るものは資本家、企業主、勞働を有つて居るものは勞働者で、企業主、資本家は賃銀と云ふ金で勞働を買つた。斯くては勞働は全然無心の機械の作用と違はない。然るに勞働者は機械でない、從つて無心の機械の作用と人格を有する人間の營む勞働とは、何處までも之を區別して考へなければな

らぬ。是に於て勞働の人間化てふ語が出來たのである。勞働の人間化とは勞働を以て人格的活動の一と爲すことである。既に勞働が人間化さるれば、其の勞働の主體たる勞働者は機械でない、人格である、人格としては雇主と毫も違はない。斯うならなければ雇主が勞働者を大切にしない。要するに人格承認、人格尊重と云ふことは我等が産業的民衆主義から學ぶべき所であると思ふ。

終りに文化的民衆主義に就いて考へて見ると敎育上の文化的民衆主義は疾に日本に於て行はれて居る。此點は大いに我等の愉快に感ずる所である。明治五年八月學問奬勵被仰出書と云ふものが政府から發布されたが、其中に『自今以後一般の人民（華士族、農工商及び婦女子）必ず邑に不學の戶なく家に不學の人なからしめんことを期す』とある。右は全く敎育上の民衆主義、換言すれば敎育に適用された民衆主義である。殊に婦女子と云ふ文字に注意すべきである。東京帝國大學では近頃聽講生の制度を設けて、女子にも大學敎育を受けさせ始めたが、朝廷におかせられては既に明治五年に女子の學問に留意し給ふて居られたのである。是れに由つて之れを觀ても、明治の初年において國運隆興の氣運が既に動き、以て我國の今日あるを致したところの民衆主義が現はれたのも決して偶然でないことが解る。

民衆主義を西洋からのみ傳來せられたものと思ふてはならぬ。上下貴賤の別なく、人の子たるものに眞理を傳へて、國家の爲めに努力せしめるのは極めて必要な事で、斯る民衆主義は敎育的眞理である。藝術上の民衆主義に就いても亦聞くべきものがある。是までの藝術は、上流社會の消閑玩具と言つては多少言ひ過ぎると思ふが、多少その傾きがあつた。然るに藝術は人をして人生の眞を味はしめるもので、今や日本の藝術界も餘程此の氣運に向つて來た。帝國の繪畫や彫刻を見ても勞働者の生活から材料を採つて居るものが尠くない。小說を讀んで見ても同じ傾向の存ずることが分る。（未完）

先づ胎兒の保護より

内務省囑託　生江孝之

晩近兒童保護問題が著しい進捗を見るに至つたのは明らかな事實である。然らば兒童保護事業のうちに含まれて居るのは何であるかと云ふと、之れは種々なる分類の方法もあるが、主として年齡によつて區別するやうである。先づ胎兒の保護、卽ち姙婦保護、次に幼兒保護、學兒保護、職業少年保護、それに特種兒童保護といふやうに分けることが出來ると思ふ。其の中に於ける特種の兒童保護に就ては、我邦にても逐年研究を積み、之に對する多くの施設を見て居るが、その以外の胎兒の保護、卽ち姙産婦の保護、幼兒保護等の如きは、前者に比して比較的近來の發達であるから、我邦にては未だ夫れ程に此の方面の事業が發展して居らぬのである。特種兒童保護は主として既に或る不幸の狀態に陷つたものを保護救濟するところの言はゞ消極的社會施設ともいふべきものであるが、胎兒及び姙婦保護の如きは積極的事業であつて、如何にして胎兒及び姙婦を健全に發達せしむべきかと云ふことに重きを置いて居るのである。

姙婦保護に就ては最近三十年程の間に世界各國共に種々なる方法によつて之を實施した結果、姙婦の死亡率が減少を見るに至つたのは明かな事實であつて、殊に米國のニコージーランド州に於て百人の生産兒に對し姙婦の死亡率が僅かに五六人を超へざる如きは、その最も顯著なるものである。まだ歐羅巴に於ても瑞典諾威、和蘭の如き、何れも姙婦の死亡率が逐年減少して、生産兒百人に對して七八人を出でざる狀態になつて居るから、今後益々是等の事業が進步するに從つて姙婦死亡率の遞減を見るべきは殆ど疑ひない所である

更に注意すべきは、姙婦の死亡率を少なからしめんとすると同時に、其の胎兒を保護し、之をして生れた後も健全に發育成長せしめんとすることで、此の思想と觀念は最近殊に進んで來たが、それにはヤハリ何うしても姙婦を保護しその健康を增長せしめなければならぬと云ふことに歸着し、姙婦保護の施設が最近十年內外に非常に發達して來た。然らば如何にして姙婦を保護するかといへば、これは主として二つの方面に區別することが出來る。第一は姙娠中の八箇月（姙娠は十箇月なるも最初の二箇月間は姙娠の事實に就いて確められない場合が多いから先づ八箇月として置くのである）間を如何に保護すべきやと云ふこと、それから第二は分娩及び產褥中は之を如何に保護すべきかと云ふことである。

歐米に於ては姙婦保護の方法として各都市に姙婦保護協會を設置し、其の協會の下に幾多の姙婦保護相談所を設けて姙婦の保護に力を盡くして居るが、姙婦を探し出すことに就ても、或は家庭を訪問したり、或は途上に於ての發見に努めたり、種々なる方法を講じて居る。無論先方より申出てたものは之を受附ける。其他にも凡ゆる手段を講じて成るべく多くの姙婦を保護せむとして居る。貧民にして姙婦を產院に收容する能はざるものは日を極めて看護婦を家庭に派出する。また日を定めて姙婦の來所（保護所へ）を求むることもある。殊に英國の如きは千九百十八年に幼兒保護法なるものを制定實施し、各公共團體は其の法律に依つて適當なる醫員を任命し、其の醫員等が集つて協議の末、學理的方面よりも姙婦を保護することになつて居る英國では是等保護所の數が千九百十七年に於て公共團體のが五百四十二、篤志團體のが五百五十一であつたが、千九百十八年の幼兒保護法發布以後に於ては、公共團體のが七百、篤志團體のが五百七十八といふ數になつた。またそれに附屬した看護婦の數は、千九百十八年には終日看護に從事して居るものが七百五十一人半日勤務のものが七百六十八人といふ數を示して居る。是等の看護婦等は皆保護所を中心として姙婦保護の任

に當つて居るから、姙婦の病に罹るものが次第に減少するといふ狀態である。

米國に於ては擧國皆此の事業の進捗に苦心して居るが、就中紐育の如きは市內を十區に分ち、一區毎に一つの相談所を設け、其所で姙婦の健康を診斷したり、家庭を訪問したりして、孜々として其の實績を擧ぐることに骨を折つて居る。市の事業ではない私立の或る姙婦保護協會では一年に一箇所で二萬人近くの姙婦を保護したといふ事である。假りに紐育市に一箇年十三萬の姙婦があるとすれば、其の一私立の協會が約七八割の姙婦を保護したと云ふことになるので、實に盛なりといふべきである。猶はマサチユセッツ州では衞生局で全州の姙婦のある家庭を調査して、每月書面を送り、姙娠三箇月目の養生、四箇月目の攝生といふやうにその月々に應じて守るべき養生法を印刷して配布して居るが、是れは一寸面白い思ひ付で、其の效果もなかなか良好であるとの事である。斯うすると、姙婦は每月々々此の指導書に依つて、或は醫者を賴むか、看護婦を雇ふか、それぞれ適當の方法手段を執ることが出來て頗る便利である。全州に亘つて調査するのであるから、衞生局の事業としては相當な經費を要するが、兎に角それに依つて全州の多くの姙婦が保護せらるゝのである。それに其の印刷物や書面の文章が簡明な英語で出來て居る。

以上述べたのは何れも各家庭に於ける姙婦の保護に關することであるが、然らば分娩の際に於ける保護は何うなつて居るかといふに、是れもヤハリ二樣の取扱ひになる。卽ち一つは家庭に於ける分娩の場合、他の一つは產院に於ける分娩の場合である。之に就て更に英國の例を擧げて見ると、英國では千九百五年に產婆法なるものが制定實施され、其後二三回改良を加へられたが、此の產婆法に依つて產婆に種々なる特權が與へられてある。その一つは若し產婆が姙婦の分娩に際して醫師を要すと認めた場合は獨斷を以て直ちに附近の醫師に來診を請ふことが出來る。その時、醫者は理由なくしてこれを拒むことが出來ない。若し拒絕すれ

ば、相當の處罰を受ける。若し細民の家庭で醫者の診察料を拂ふことが出來ねば、公共團體で診察料及び治療費の全部を支拂ひ、家庭に於てはその支辨を免がるゝことになる。更に其の産婦の家庭で、産婦が分娩のため子女の監督が出來ず、他に適當な監督保護者がないとか、炊事をする者がなくて困るとか云ふ場合には産院なり協會なりから産婆若くは看護婦を其の家庭に派出して子女の監督保護又は炊事の任務を執らしめることがある。其の家庭が細民なる時はその費用の半額を國庫が負擔し他の半額を公共團體若くは私立團體で支辨するのである。詰り細民の家庭に於ては、醫者を招聘しても、家庭保護者を依頼しても、何等失費なしに總べて救助を受くる事になるのだ。此の謂ゆる家庭保護者なるものは、協會なり産院なりで平素から特殊の訓練を受けて居る。例へば主婦に代つて兒童を保護する時、何歳位のものには何ういふ方法を取れば宜いか、食物は何ういふものを何ういふ風に與ふるか、其他種々家庭に於ける必要なる事柄を講習して置くのである。斯様に家庭保護者の如きもの迄も準備して置いてこそ、始めて産婦保護の主旨を徹底せしめ得るので實に歐米に於ける斯る施設は産婦保護の上に一段の進歩を見たものであると云ふことが出來る。以上は家庭に於て分娩する場合であるが次に産院に於て分娩する場合のことを述べて見やう。

産院なるものは我邦では珍らしく感ずるが、歐米に於ては決して珍しくなく、都市には大低設けられてある。之も英國に就いて見ると、千九百十八年における幼兒保護法發布の結果、多數の産院を地方の公共團體で設くることになり、之を設ける場合、其の費用の半額を政府が補助するのである。英國にどれ位の産院があるか、今それを明かに知る便宜を有して居らぬが、兎に角年々その數を増加して居るのは事實で、今や到る處に産院が設けられ、獨り都市のみでなく、農村にも次第に産院が設けられる様になつた。現在米國の紐育に於ては産院の數が公私合せて千六百七十五程あり、其うち二百三十は有料であるが、他は盡く無料であ

る。産婦の入院は一人で平均二三週間であるから、千四百内外の無料産院だけでも一年に一萬五六千人の姙婦を收容することが出來るわけである。例へば紐育で十三萬の出産があるとすれば其の一割以上を産院において保護することの出來る設備を有して居ると言ひ得られる。是等の姙婦を産院に送る場合は、言ふ迄もなく、多くの場合に於て、自働車擔架が設備されてあつて、此の設備がまた實に徹底的統一的に行屆いて居るのであるから、多くの産院に於てこの自働車擔架を使用する場合は、極めて迅速に行はれ、一旦入院すれば總べて適當なる醫師及び看護婦に依つて治療若くば看護を受け得るのである。

産院に於ては産婦を收容し、二三週間の後、家庭に送り還すことになつて居るが、此の結果として、紐育及び英國に於ても姙婦の死亡並に死産の率が年々減少して來る。醫者の意見に依つて必ずしも一樣ではないが、死産の多いことゝ乳兒死亡の多いことは、主として胎兒の保護卽ち母體の保護如何に依ることで、それは在來から認められて居るのであるが、何れの國に於ても乳兒の死亡は生れてから一週間乃至一箇月間が割合に多い。我邦の如きも内務省衞生局の調査に依れば一箇月乃至一箇年間で死ぬ乳兒中で四月のうちに死ぬものゝ數が全體の約五割に達して居る。之れに由つて見ても、如何に一箇月以内で死亡する乳兒の多いかを知るに足るべく、其の率において我邦は外國よりも多いのである。尤も姙婦保護の問題に多年力を盡して居る歐米に於ても、まだ依然として乳兒の死亡が多く、千九百十年の米國の調査に依れば、生後一年内外で死ぬものが一年内外の死亡者に對し二割三分を占めて居り、其の中で生後一週の間に死亡するものが（一年以内で死亡する者に對し）約一割四分、三月内外で死ぬものが約五割五分を占めて居るといふ狀態になつて居る。これを以て見ても、胎兒及び姙婦の保護の不行屆なる結果として、今尙ほ生後一箇月若くは三箇月内外で死亡するものゝ如何に多いかを知ることが出來るのである。

所で其の重なる理由は何であるかと云ふに、つまり胎兒の保護が不充分であるといふに歸着するのであるから、乳兒の死亡を少なからしめんとするには、どうしても胎兒の保護から始めなければならぬ。胎兒を保護し之をして强健ならしめんとするには何うしても家庭と産院に待たねばならぬ。況んや我邦の如き乳兒死亡率の特に多い國にあつては家庭及び産院に於て充分に胎兒の保護をせなければならぬ。然るに我邦の家庭に於ける姙婦保護の方法は重に産婆に依頼する。日本の産婆は外國のそれよりも發達して居るらしく、隨つて分娩の際は比較的手が届くけれども、併し中産以下の家庭にあつては産婆を頼むにしても困難の事情があるから、一面には巡回産婆の制度を設けて之を保護するの必要があり、また産院の必要なることも極めて明白である。大阪市の如きは既に二箇所も産院を設け、市で經營して居り、東京市にも木下醫學博士が主となつて産院の事業を行つて居るが、歐米に比すればまだ〳〵我邦は非常に劣つてゐる。尤も其の外に之れに類似したものがあるけれども、見るに足るものは殆んどないのである。

今日の如く醫術の進歩した時代において、乳兒死亡率の多いのは、一國としての體面上恥づべき事である恥辱ばかりではない國の獨立の上にも影響する。言ふ迄もなく國民の體格が强健であれば萬事に活氣を帶び活動が盛んになるわけで、國運の伸長は一に國民の健全に俟たねばならぬが、國民の健全を企圖せんとするには、母の體内にある胎兒からして之を保護する方法を講じなければならぬ。人道の上からいつても胎兒の保護は最も大切なことである。近來世界到るところ兒童保護事業が盛んになり、我邦でも大分公私の團體で此の事業を企畫し、各所に此の問題に就いて講演會が開かれるやうになり、赤十字社でも平時事業の一つとして兒童保護、産院の事業に指を染めんとするに至つたのは、實に悦ばしいことであるが、歐米諸國の施設は上述の如くであつて、我邦は遙に劣つて居るから、益々大いに努めて欲しい。

現代社會と人事相談

警察彙報主幹　池内勝里

社會の進歩發達が堅實なる國民協力の觀念に基くものである事は論を俟たぬ。殊に近時輕佻浮薄の思想と共に國民の生活は漸次奢侈に流れ、健全なる國民道德を傷けんとしつゝあるの秋、更に產業の不振、行政整理、工場の縮少、住宅難、物價の騰貴等、是等種々なる原因によりて生活の脅威を受くること甚しく、爲めに國民の多數は生活の不安を感じ、而も種々なる事情の下に俄かに其の生活内容を改善する能はずして體面維持の上に煩悶するものも尠くない。又一面に於ては此の虛に乘じ私利私慾を滿さんとするもの續出する等世態愈々複雜に人事益々紛糾せる結果、精神的將た物質的に懊惱焦慮して、到底自己一個の判斷を以て解決し能はざるものが極めて多い事であらうと思ふ。尤も之を解決するために法廷もあるが、これを爭ふの煩に堪へなかつたり、或は勝利を得るの見込があつても費用がなかつたり、或は地位名譽に鑑み多少の損害を犧牲に供しても默止するといふ事になり易い。是等は本人にとつて不利益であるのみならず、社會政策の上から看ても斷じて等閑に附され得ない問題である。斯る惡弊を完全に除去救濟し、それと同時に、國民生活の安定を期するため茲に必然的に起つたのは人事相談所である。

人事相談所は大正八年警視廳に設置したのが嚆矢であつて、其の實績顯著なるものがあつた爲め、其後競ふて各署で之を實施し、今や内地各府縣の警察署で之が設置を見ない處はないといふ有樣である。大正十一年度末に於て警察以外公私の施設に係る人事相談所は全國に於て僅に七箇所に過ぎない、隨つて人事相談と

云へば現在に於ては殆ど警察署が獨占して居るの觀がある。試みに大正十一年一月から六月に至る半期間に警視廳が取扱つた件數を調べて見ると、精神上の問題が一千八百八十八件、職業上の問題が二千七百五十五件、雇傭上の問題が一千三百三十五件、感化保護上の問題が一千七件、衞生に關する問題が四十六件、住宅工場に關する問題が三千三十四件、其他の問題が一萬四千八件、計二萬七千八百六十六件である。之を各府縣に付いて統計を擧げたら莫大なる數字を示す事であらうと思ふ。此の警視廳のみの取扱件數を見ても、如何に日常生活の上に人事相談を要することが多く、又如何に多くの人々が此の人事相談を必要として居るかが分明するのである。然るに民衆の中には、人事相談所が生活上斯る幸福と便益とを齎らすことを知らずして、徒らに罪惡を摘發するものであると速斷したり、その他猶ほ色んな誤解から警察署に出頭することを躊躇するものがあるので、眞に社會的救濟機關として一般に之を利用するに至るまでには尙ほ相當の歲月と努力を要することであらうと思ふ。そこで私は斯る重大問題は獨り警察官署にのみ一任すべきものでなく、公共的、自治的團體に於ても當然施設すべきものであり、進んでは個人としても事情の許す限り斯うした相談所を設くる篤志家の出現するまでに到らなければならぬものと思ふのである。

人事相談の必要なる理由

前述の如く人事相談は人事の總ゆる方面に亙つて居るので、其の範圍頗る廣いのみならず、內容も亦極めて複雜して居る。浮薄な現代思想の影響をうけて著しく各自の物質慾が旺盛となり、道義の觀念が乏しくなつて來た今日、自我のみを主張し利權を爭ふものが多いので、紛騷頻發し、人事が益々複雜となるのである。そして男女關係であらうと、家庭問題であらうと、乃至土地建物の貸借や雇傭の問題であらうと、そこに多少の例外はあるが、其の多くの場合は弱者が强者の爲めに壓迫されて居るといふ事實を裏面に於て觀取し得らるゝのである。是等の複雜なる人事に關し、現行制度の下にあ

つては法律に規定されて居ない處もあり、それに費用を要せずして之を解決すべき機關がないので、茲に則ち公設の人事相談所の施設が必要となつて來るのである。今日警察署の人事相談が相當解決の實績を擧げつつあるのに鑑み、若し斯る施設がなかつた以前に於て斯うした種々の事件が如何にして解決されて居たかを想像するとき、或は弱者が强者の壓迫の爲めに空しく泣寢入りしたり、或は自分一已の思慮に餘つて死を決したり、或は惡周旋屋の奸手段に乘せられて浮ぶことの出來ない墮落の深淵に陷つたりした氣の毒な婦人があつたり、其他悲慘な事柄が相當に多かつたことゝ思ふのである。

かの職業紹介所の如きは內地到る處に設けられてあつて（滿洲では大連のみ）、之も社會事業の重要なる機關であるが、これは單に失業者や求職者を世話するのみで、人事相談のやうに普遍的のものでない。失業者や求職者を紹介するといふ事も極めて必要な事ではあるが、今一歩進めて人事相談所を設置し、そこで夫等の問題をも解決する事にしたならば、どんなに多くの人々の幸福となる事であらう。白晝馬賊が橫行して居ると誤解して恐怖して居る人があるかと思へば、金のなる木が生ゑて居るやうに誤信して、一攫千金を夢想する群が滿洲へ次から次と渡つて來るといふ狀態であるのに、更らにそれに加へて浮薄な植民地的氣分が人事百般のうへに動もすれば紛爭を惹起し易いのであるから、當に職業紹介とのみ限らず、此の滿洲にも人事相談所といふ擴大された社會的機關を設置する事が特に必要であると思ふ。

滿洲の警察では現在小崗子警務署が最も此の方面に努力して居る樣である。尤も他の警務署では特に人事相談係といふ樣なものを設けて居ないが、輕易なものは勿論取扱つて居るのである。けれども之は警察自らの立場、卽ち保護警察豫防警察の上から當然爲して居るのであつて、私の爰に言はんとする處は、警察署の人事相談は別問題となし、社會的事業の上から其の市或は其の町に公營の人事相談所を設置されん事を要望

するのである。蛇足の嫌ひあるかも知れないが、内地各府縣の警察署及び公營の人事相談所に於て現在取扱つて居る各種の問題を便宜上左の數項に分ちて一言して見たい。若しこれによつて如何に該施設が社會的機關として必要であるかが讀者に分明したならば、本懷此上もないのである。

(A)職業上の問題

職業上の問題は人事相談事件中の大部分を占めて居る。尤も是れは其の都市の經濟的發達程度の如何に重大なる關係のある事は勿論であるが、概して田舍よりも都會地は生存競爭が激烈であるだけ此の問題が多い。殊に戰後經濟界の不況は一層失業者を續出せしめ、其の結果、各方面の職業紹介所は解決に忙殺されて居る。元來職業の紹介や指導の如きは輕々に取扱つてはならぬもので、先づ求職者の身體の强弱、腦力、學力、性格、趣味、經歷等を考察して、紹介及び指導をなすべく、苟も職業の撰擇を誤まらしめてはならぬ。殊に空理空想に驅られて何等の思慮分明もなく都會の地に上る青少年の職業紹介は最も愼重であらなければならぬ。蓋し彼等にとつて此時代は一番危ない時で同時に又前途に對する成功不成功の分岐點に立つものであるからである。こゝで注意すべきは單に衣食のための職業紹介であつてはならぬ事である。賃銀の紹介指導に終るときは、此の賃銀の紹介のために前途有爲の青年を誤まらしむる場合が多いけれども現在の社會狀態では喰ふに食なく働くに處ないといふ悲慘な人が多數あるので、當面の急を先づ救ふといふ事も勿論大切で、そこに衣食に關する賃銀紹介も亦忽せにすべきものでない事が分る。最近我國に於て之等の設備が漸次完成に近づきつゝあるは誠に慶賀に堪へない次第である。

(B)精神上の問題

これは職業紹介と同じく重要な問題である。世態の複雜化に伴ひ、此種の問題の中で、身上相談や家族親近間の紛爭が著しく增加しつゝある樣であるが、それと今一つ男女の性的關係(結婚、離婚をも含む)の事件も多くなつて來た。近來性に關する問題が各方面で著しく論議される樣になつた

のは文化の一進歩とも言へやう。而も其の一面に於て多少時代の反映もあらうが此等の問題を鵜呑みにした謂ゆる半可通の男女が極めて簡單に離反するといふ傾向が多くなつて來た。それは固陋なる道德から、或は囚はれた桎梏から脫却せんとする一種の新運動であるかも知れないが、情の赴く處に從つて變し、然うでなかつたら離れるといふは決して喜ぶべき事でない。極端に古い觀念に基く行動は考へなければならぬが、さりとて極端に新しい思想に基く行動を採ることも愼まねばならぬ。しかも斯うした事實が上流又は智識階級の間に行はるゝことは頗る遺憾とする處である。そこで本問題の相談としては其の事件の動機とか經緯といふ樣なものを充分語らしめなければならぬ。卽ち相手が漏らした一切の秘密、不滿、懊惱を詳細に聽き、そして諭慰激勵して以て圓滿に解決することを忘れてはならぬ。

(C)雇傭上の問題　これは數百乃至數千の職工を有する工場又は會社に勃發した怠業的、罷業的に基く雇傭上の問題を別とし、主として對家庭的の雇傭關係に於ける紛擾問題である。例へば女中にも男子と同樣の公休日を與へて欲しいとか、女子に男子よりも長時間の勞働をさせるので衣類の洗濯も出來得ないとか或は勉學の時間を與へるといふ約束であつたにも拘らず與へて呉れないとかといふ問題が多い。此等は人事相談所の手を煩すまでもなく、女中や書生を使ふ家庭では充分考慮して彼等に相當の時間的余裕と慰籍とを與ふる途を講ずる事が必要だが、萬已むを得ずんば相談所の手を煩すも亦可なりである。

(D)住宅問題　家屋の拂底と橫暴家主の跋扈は此種の問題を激增せしめる。而して此の問題の主要なるものは家賃の增額、其他造作等に關する爭議が第一位で、家賃の延滯、明渡等が其の第二位に在る樣である中には不德義な借家人も居るが、概して弱者はヤハリ借家人である事は爭はれぬ事實である。尤も最近內地の一部に借地借家法が實施され、借家人に相當有利な條項が加へられたので、之等の爭議が一見減少したか

の如く考へらるゝけれども、實際は然うでなく、寧ろ家主の中には是れに對抗的の態度を以て家賃を引上げ又は權利金乃至居住權と稱して高價に貸付けようとする者があり、隨つて之等の紛爭に借家人が絕へず惱まされて居るのが今日の實際である、是等は雙方共に正義の觀念に立脚して正當なる利益、公平なる幸福を享有し得るやうに解決することが必要であつて、借地借家調停法は之がために實施されたのであるが、斯樣な人事もその一部は人事相談所で解決することにしたいものである。

(E)感化保護問題 感化保護に關する問題の中で其の最も多いのは不良少年少女の感化善導と病弱者救療及び幼兒保育等である。不良少年少女の問題に付ては、曩に卑見を發表して置いたから重ねて詳述するの煩を避けるが、本問題の如きは人事相談の中でも最も重大な又最も困難な問題であるから、一片の說諭や訓戒を與へて善導し得たものと解してはならぬ。彼等の有する所謂不良性なるものは後天的であるか先天的であるかといふ病根にまで溯源して適當の措置を採らなければならぬ。次は幼兒保育の問題であるが、世には配偶者の一方若くは兩親共死亡し、又は生活上其他種々なる事情によつて、その子女を託すべき親戚も知己もないといふ不遇に立つものが多い。是等は託兒所なり保育所なりに交涉したり、或は適當の養育者などのある場合、それに送る等の措置を一般に執つて居るが、機關の不完備なるが爲めに未だ充分に救濟の實が擧つて居らぬ。猶は病者の救療に付いては、各地ともそれ〴〵救療機關の施設に苦心して居るが、これも未だ充分であるとは言へない。僅に恩賜財團の濟生會が出色して居るやうであるが、それも患者收容の設備や其他の救療等が小限度に止まつて居るのは遺憾であると謂はねばならぬ。

(F)其他の問題 其他の問題としては旅費の調達、金錢貸借、債權債務の紛爭、物件賣買に關する爭議等である。旅費の調達は取引上または旅行として其他へ來たものが滯在中に所持金品が盜難に罹つたとか

又は遺失したとかといふ場合、旅金に窮して人事相談に來るのであるが、相談所としては大抵本人の所有なりと認むる物品を入質せしめて旅金を調達し、それを賣却するやうな事はない。そして其の入質物品は本人が歸國次第元利及び郵送料を送つて來てから之を質受しそして返送の勞を執つて居る。中には就職先から斷られたり、失業したり、若くは酒色に溺れたりした結果、歸國の旅費に窮するものもある。之等は相談所に泊め置くか、適當の保護者に託するかして、路頭に迷はせぬやうに夫々保護を加へ、此間本人の郷里へ照會して兩親なり兄弟なりから送金するやうに交渉して居るやうである。

斯く觀察し來ると人事相談は時代に適應した最も有意義な施設であることを私は斷言したい。法規上の根據こそないが、其の效果に至りては寧ろ法令の執行よりも或る意味に於て效果が多い、それだけ社會的救濟の上にも大なる價値がある。百般の人事爭議の一々を刑事訴追若くは警察處分となすが如きは、關係官廳をして繁に堪へざらしむるのみであつて、元來決して望ましい事ではない。正義名譽を重んずるの人は直ちに法規の批判を仰ぐよりも、先づ相談的に理非の判斷を求むることを以て妥當なる裁決と信ずるの傾向がありそして此の傾向は今や各方面に亘つて漸次增進しつゝある模樣であるから、是等の點から云つても、人事相談所の必要は極めて明白である。斯くして社會共同生活の本義に立脚し、互讓和解の實を擧げしめ得るとしたならば、人事相談の使命も亦甚だ重大であることが首肯さるゝであらう。



社會事業資金難

社會政策の必要は日本に於ても一般的に段々認められて來た樣だが社會施設は聲ばかりで實行が非常に鈍い▲鈍い原因は政府當局の不熱心と民間人士の間に眞劍味が乏しい故でもあるが一は資金と財源が常に不足を愬へて居るからだ▲元來大藏省の預金部の金は二千圓を限度とした中產階級以下の郵便貯金を主體として居るのだから中產階級以下の生活安定を目的とする社會事業の資金に振向けるのが正に當然の理數であらねばならぬ▲然るに此の預金部の金は實際において中產階級以上の銀行や會社の救濟資金に振向けられ其の使途が極めて曖昧だ▲當初に確とした規定を設けなかつた爲めと使途監査の制もないので斯んな風になつたものと思はれるが將來は此の如き事のないやう改めて欲しい▲昨年から實施された簡易生命保險の金は政府も社會施設の急を認めて必らず四分八厘乃至六分五厘の低利を以て社會事業に貸出すべきものと規定した▲これは當然の事であるが今回政府は現行貨幣法に基づき銀貨を鑄造する事に依つて生する造幣局所管の益金中一億二千萬圓を財源として社會事業資金特別會計を新設すべく其の法案を今期議會に提出した▲此の特別會計法案は全文七條より成り大正十二年度から年年四千萬圓を三年間繰入れ凡ゆる社會事業の資金として利用したいと云ふ旨趣で作られたものである▲然るに議會は之を審議未了の裡に葬り同時に政友會から此の益金の中より六七千萬圓を農村振興費に振向けよと大藏省に迫り又その殘額五六千萬圓については實業家連から之を對支事業の銀資金に流用して欲しいと同じく大藏省に迫つた▲市來藏相は本案が不成立となつても此の益金は元々社會事業資金に振向ける事に決して居るのだから政府としては斷じて之を他に流用しない決心だと語つた▲果して其の決心の如くであれば十二年度から實施されぬ事になつても早晩實行されると云ふ望みがあるが政府當局の腰の加減を見ると何となく不安に思はれる▲本問題につき大阪朝日新聞は四月七日の紙上に「一臠の腐肉に集るもの＝造幣益金の運命」と題して痛論し大阪每日新聞もまた四月八日の紙上に「造幣益金の爭奪＝藏相の覺悟如何」と題して切論した▲日本の兩大新聞が筆を揃へて切論痛說する程に此の問題が惡化する虞れがあるとすれば由々しき次第で國民は眼を刮つて其の成行を注視せねばならぬ▲冒頭に述べた通り一體日本の社會施設乃至社會事業に對する資金と財源は甚だ貧弱だ資金と財源が貧弱では近代の進步的社會政策を徹底的に行ふことは出來ぬ▲英國は世人周知の如く極めて保守的の國であるが夫れであり乍ら社會事業には古くから努力を拂ひ政府が各種の社會事業に投ずる金額は莫大なものだ▲最近の調査に據れば國庫から社會事業のために地方團體に補助する敎育費は七億圓、失業及び健康保健に一億七千五百萬圓、住宅補助金に一億五千萬圓、貧民救濟に一億八千萬圓、老齡年金として二億六千百五十萬圓といふ巨額に達して居る▲日本が社會問題に目覺め社會政策の必要を認め社會施設乃至社會事業の實行に着手したのはコ、二三年來の事だから先進國の英國に及ばないのは是非もないが肝腎な資金が不十分では仕樣がない▲所謂低利資金の支出融通も甚だ吝臭いもので住宅補助金に一千圓限度とは話にならない又その低利資金が門違ひの方面に融通されて國民を疑はしめる樣な事もある▲折角社會事業のために特別會計として支出しようとした造幣益金が上記の始末とあつては益々心細いわけだ▲政府が此の始末だから社會事業のために奮發して金を出す富豪も篤志家も少いといふ事になるのだ。

生活法の改善と都市の改革

内務省都市計畫局長　山縣治郎

東洋の日本と西洋の諸國と此間如何なる相違があるかと云ふことは、本問題の論究上一考を要する事柄であるから、先づ此事について一言しやう。日本は今や現に五大國の一に列し、總ての點に於て餘程進歩して居る、他の小國と比較すると甚だしい差別がある、と斯う考へる者があるかも知れない。成程それは或程度まで事實で、或は歐羅巴よりも優つて居るものがあるとも云へる。例へば、海軍の如きは立派なもので、英米二國を除けば我國に匹敵するものが無い。日本の商船も頗ぶる優勢なもので、隻數に於ても、實質に於ても、英米を除けば世界に比類稀と言ふべく、殆ど佛蘭西と雁行して居ると言ふよりは、寧ろ佛蘭西を凌駕して居ると言つて宜い。陸軍も中々堂々たるものであることは世界に周知されて居る。日本の教育制度も亦非常に整備したもので歐羅巴のそれに劣らず、小學校の義務教育は六年であるけれども、極めて能く普及して居る。就學兒童のパーセンテイジ抔を比較したら恐らく英米以上であらうと思ふ。法律も頗る進歩し、民法の如きは獨逸のそれを參酌したものであるけれども、略々それと同等である。憲法、刑法、其他市町村制等に至るまで皆立派なもので、謂ゆる文物制度燦然たるものがある。英米には一歩を讓るとしても爾餘の諸國には餘り負けない。併し五大國の一に加つて居るから總ての事物も西洋諸國と同等同樣であると考へるならばそれは甚だしい謬つた觀察である。

然らば西洋と日本とは如何なる點に於て相違するかと言ふに、先づ吾人生活の根本たる衣食住の情態が異なつて居る。近來は歐米風の家屋が増加して來たが、住宅の如きは外觀が同じでも内容が著しく異

なつて居る。歐羅巴の家屋は悉く不燃質物で建築され、都市の中央に於て木造の家屋に住むものは極めて稀である。我輩は歐米十七八箇國を廻つて見たが都市の人民は孰れも不燃質の煉瓦の家に住み、その家屋は皆五階七階の高層であつて、實に整然たるものである。滿洲の大連や奉天の日支人家屋は別として日本の如く都市でも田舍同樣に木造の家に住んで居る者はない。此點は非常な相違である。屋内の相違は殊に甚だしく、日本の如く疊の上に膝を折つて生活して居る國民は、世界中殆ど之なく、文明國の中には一箇所も見當らない。服裝の相違も同樣で、我國民の如く上から下まで同じであつて、而も男子が股の裂けて居ない長い裾と長い袖とをぶら〳〵させて居るやうな服裝をしたものは全く無い。米を常食として生活して居る國民は、東洋には多いが、歐洲の文明國中には無い。以上は單に彼我の相違して居る一例を擧げたまでで、何れが善いか惡いかと云ふ問題とは自ら別であるが、然し此の良否の問題は相當重要な事柄であるから、一應研究しなければならぬと思ふ。國情民風同じからざれば其處に種々の差別が起るは當然だが、例へば文字の如き日本では上から下へ右から左へとの書方であるから、外國で新式の機械が發明されても之を應用することが出來ないで甚だ不便を感ずる。邦文タイプライターや邦文モノタイプが出來たけれども歐米のそれに比べると遙に不便である。右は文化の上から言つても非常なハンデイキャップではあるまい乎。それで日本でも羅馬字を國字として使用しやうと云ふ議論もあり計畫もあるのだが、兎に角世界の趨勢と掛離れた生活をすると云ふことは、非常な不便で、また大なる損失と言はねばならぬ。醇風美俗の保存は當然として我等は出來得るだけ成るべく世界の大勢に順應することに力めなければならぬと思ふ。

然るに又一面に於ては何うしても廢止することの出來ぬものがある。例へば日本に於て米食を廢して麥食を用ひ、田地を潰して麥を植ゑるとしても、十分なる澱粉の量を得ることの困難なるが如き其の一である。故に日本の國情の上から何うしても廢止し難いものは後廻しとし、先づ容易に免かれ得るもので、而も改善の急を要するものは、出來るだけ之を改むべく、差當り建築の如きは其一であらうと思ふ一體日本の家屋のやうな不完全な非活動的な家屋は

何處にも無い。冬季になると、日本人は重ね着をするが、それでも室の全體が寒い、暖い處は我等の肉體と一尺平方の火鉢の中だけであるから、其處を去ることを嫌ひ、足を折つて坐つたら動かぬ樣になる是れ住宅建築の非時代的なるが爲である。洋館のやうに暖爐の設備をして置けば、室全體が暖いから勿論火鉢が要らない、上衣を脫いで室內の何處を飛び廻つても差支ない、隨つて活動的になり、何程能率が上るか知れない。第一その方が非常に經濟である獨り建築上の經濟たるのみならず、衣服の儉約ともなり、それに伴れて他の節約ともなる。西洋人は四季を通じて同じ物を着て居るが勞働者は殊に然りである。日本でも一年中同じ服で通さうと云ふ人もあるが、然し我邦のやうな不完全な建築物の中に住んで居つて、春夏秋冬同じ衣服で通さうと云ふことは餘程意志の鞏固な人なら格別、一般人に對しては無理な事と思はれる。寒い時は綿入を二枚も着て、其上に羽織を重ねると云ふ風に、日本人は服裝に金を費すけれども、外國にはそんな事がない。西洋で一番金の掛るのは婦人の衣服であるがそれでも日本の樣に無駄な事はしない。彼等の通常服は厚目の物と薄目の物と唯二通りだけであるが、勞働者になると通常服ですら年中同じ物で、唯襯衣で加減する位に止まる。然るに日本服は不經濟のうへに贅澤に出來、て居つて絹を裏にまで飾つて着て居る。斯る習慣が生活難の叫ばれて居る今日の時代に適して居るか否かは論ぜずして明瞭であらう。若しも建築に改良を加へて、西洋の如く四季を通じて通常服を二種、禮服を一種類にして濟む樣にしたなら、どんなに便利であらう。西洋の貴婦人などが冬にも膚を露はして居るのは畢竟室內が暖かで一向差支ないからである日本の白襟紋付一重ねの金があれば夫れでもつて西洋の貴婦人の服が五着も出來やうかと思はれる。昔のやうに武陵桃源の夢を貪つて泰平無事な生活をして居た時代なら格別、現今の如き繁劇な社會に於て華美な服裝が西洋人から誉められると言つて、日本人が之を誇るが如きは謬見も甚だしい。故に我輩は先づ家屋を改造して然る後衣服の費用を節約すべきものと思つて居る。日本人は身體矮小にして見惡いが、これも畢竟疊の罪であるから、斯かる生活方法は速かに之れを改めなければならぬ。

次に家屋の建築と都市計畫とが密接なる關係を有

することを知らねばならぬ。例へば道路の擴築の如き、何の爲めに擴築するかと言へば、第一目的は交通の爲めであるけれども、同時に其の兩側に高い家屋を建築する爲めで、又道路が狹いと採光の妨害となるからでもある。然るに高層建築は木造では出來ぬ。木造では二階以上の建築が危險であるから、市街地建築物法では三階を限度として、其の以上は許さぬことになつて居る。地震の際の如きも危險である。又道幅が狹いと、路面に光線が當らぬ爲め、年中道路が濕つて乾かない。塵埃が飛び立たぬのは結構であるとしても交通上甚だ不便である。そこで東京では道路を擴けたところ、今度は路面に光線が能く當つて、塵埃が倍々散布され、謂ゆる黃塵萬丈の奇現象を呈するに至つた。之では衞生上有害であると云ふ譯で今度はペイブメントをやる必要を生じて來た。西洋では絕對的に之を行つて居るがそれには相當費用が掛る。若し東京の如き大都會に於て、六間幅以上の道路にペイブメントをやると、四五千萬圓の經費を要する。之れは今日では苛重な負擔と言はざるを得ない。今假りに約二十間幅の道路として其の費用を負擔する場合に、兩側が皆煉瓦造とか石造とかの大建築ばかりで、其中に幾千人と云ふ居住者が居れば、一人當りの負擔は甚だ僅少なもので濟むけれども、若し兩側が平家ばかりであるならば到底その負擔に堪へるものでないのである。

戰敗の結果、獨逸は今日甚だ疲弊して居ると言ふけれども、伯林の市街を通つて見ると、道路は悉くアスファルトを以て鋪設せられ、且路面を水で洗ひ流すから、縱ひ轉んでも些しも泥が附かぬ。日本の道路などとは雲泥の差がある。陸海軍や其他の事は日本も格別西洋に劣らぬけれども都市の情態は天地雲泥の差がある。西洋の道路は塵埃を立てやうとしても立たないがさう云ふ處は空氣も勿論淸淨である東京の住民は市の空氣が惡いから郊外生活が宜いと言ふけれども、西洋では到る處にペーブメントが敷いてあるから塵埃が立たず、從つて空氣も鮮良である。然し其の鋪裝の費用は中々莫大であつて、兩側の家屋を高層建築にしなければ負擔に堪へない、其の結果、建築も鐵筋コンクリート式の洋館にしなければ間に合はぬから、疊の上で胡坐をかこうと云ふ風では到底出來る相談でない。之に由つて見ても邦人の生活方法の改善と都市の改善とが緊要なる關係

を行することが分るのである。採長補短が我邦維新以來の方針であるとすれば、在來の生活方法のうち近世的生活に適せないものは、着々改善を加へて宜い筈である。或人が金の煙管を貰つた爲め、之を容れる物も拵へなければならず、衣服も着替へなければならず、何やらも取替へなければならぬことになつたと云ふ噺があるが、恰も之と同一理で、既に電信電話を採用し、汽船汽車を受入れ、自動車を輸入し、終には飛行機までも輸入した以上、之れに順應する洋式の生活方法も採用しなければなるまいと思ふ。尤も國情民俗の中には容易に動かすべからざるものもあるから、其邊は言ふ迄もなく程度問題であるが、兎に角我邦の都市と歐米の都市とを比較すると、斯の如き相違が存するのである。

　大體から觀察するときは、日本人は頭腦が良秀で頭腦の明敏する點に於ては歐米人に劣らない。今日五大國の國民中で、一番頭の良いのは佛蘭西人、其次が伊太利人、日本人で、英米人は更に其次に位して居ると思ふ。歴史を見ると最初は何時も佛蘭人が英吉利人を凌駕して居る。印度に先鞭を着けたのも佛蘭西人、蘇士の運河に手を染めたのも佛蘭西人で

あるが、然らば何れの點に於て英國人が佛國人に優越するかと言ふと、それは頭腦の怜悧な點に非ずして堅忍持久の克己力と大局を考へて小事は拘泥しないと云ふ量見の大きな點である。此二點は英國人の特長で現に勞働問題に對しても英吉利人の仕方は着實である。一昨年我輩の英國滯在中に、鐵道從業者が二十萬人も團結してストライキを始めたのを見たが、彼等が一般に沈着にして冷靜なる判斷に富んで居ることは稱歎に禁へなかつた。當時斯の如き大騷擾を起しても、誰一人無暗に政府を攻撃するものがなく、無暗に暴行する勞働者も無かつた。日本では大阪でも、東京でも、二三百人の勞働者がストライキを始めると、必ず亂暴し、そして燒打と云ふことが附物なつて居るが、英國では六十萬人の勞働者が同盟罷工を企てゝ一度も亂暴したことがない、偶に脫線することがあつても、日本のやうな亂暴な事はしない。彼等は飽まで冷靜沈着で大局に眼を注いで小事に拘泥しない。一般國民も頗る冷靜沈着にして判斷を愆らず、同盟罷業の行はれた場合政府の爲す所が是なりと認むれば、或は義勇兵となり或は機關士となつて働き、又技能なき者は赤帽となり切符切

りをして働らく。彼等の斯の如き國民性が如何にして養はれて來たかと言ふと、原因は固より種々あらうが、之を要するに其一は建築物即ち家屋がかつしりして居る結果であらうと思はれる。

然るに日本人は頭腦が比較的明敏であるが、その代り神經過敏で困る。我邦の樣に、一家中が一室も同樣で薄つぺらな建物の中に住んで居ては、子供が一人泣くと家族一同が眼を醒され、靜かに眠らうとしても、電車や汽車の音で眠られず、隣家の人が夙起すると又それが睡眠を妨げる。旅館へ泊つて夜早く寢て居ると隣室の人が晩くまで騷いで眠られない朝緩つくり寢ようと思つて居ると、女中が朝早くから戸を明ける。斯う云ふ風では神經過敏にならざるを得ない。殊に東京では火災が絶ゑないで忽ちにして千戸も二千戸も燒けるから、風が吹くと心配で又眠られない。警察では火の用心をせよとか盜難の豫防をせよとか言つて注意するけれども、今日のやうな不完全な日本の家屋では、直ぐ火が附き易く、又盜賊にも容易に入られる。年中戰々競々として寢て居ると云ふ風では何人とても神經過敏症に罹らざるを得ない。神經が過敏になるから何事にも興奮して無暗に攻撃したり燒打を始めたりするのである。第一斯る狀態では立憲自治の制度が到底圓滿に發達する道理がない、隨つて集會でも結社でも又言論でも或程度の制度を加へなければならぬ事になる。斯う考へて來て見ても、都市の改造問題が單純なる物質上の事柄のみではなく、精神上の問題にも大いに關係のあることが分らう。要するに都市の改善と生活方法の改革とは我邦の現在及び將來の政治上、經濟上、並びに社會上の重要問題の一であることを何人も切に牢記せねばならぬのである。

文化的社會施設と在滿朝鮮人

在奉天、田原漠東

本國内に於てすら理想的社會の實現は難事であるのに、況して異民族の集團する海外の地に於て合理

的理想的社會を打建てんことは蓋し難中の難事である。兩三年來此の滿洲にも社會問題の研究と社會政策に基く社會事業の必要が識者によつて唱道せられ滿鐵には社會課が設けられ、大連市役所の社會施設も漸次歩を進め、そして大連に滿洲社會事業研究會が設けられたのは寔に慶すべき事であるが、異民族雜居の新天地に新社會を作るは容易ならざることで第一資金が不充分では一層困難であらうと思ふ。吾等は之を諒とする者であるから、無理な注文や要求はしないが、一般に在滿朝鮮人を度外視して居るのは遺憾千萬とする所である。這は惟ふに在滿鮮人の八分通りが日本の行政治下に居住せず殆んど沒交渉の狀態に在る關係の致すところと想像するも、日本の新附民族たる朝鮮人を問題外に置くと言ふことは甚だ當を得たものでないと信ずる。

斯く言ふ吾等は在滿鮮人と交通的に行政的に將た經濟的に最も接觸の度を厚ふする奉天に在住し、然かも鮮人の救濟と善導を趣旨として愚兄の創立せる滿洲朝鮮人親愛義會本部に寓居し、日夕鮮人と面接し談語し、其間多少の問題にも干與し、彼等の時代思想並に社會的要求について親しく其の消息を觀得して居る。今彼等朝鮮人の要求する處を概言すれば鮮人と日人並びに鮮人と支人の社會的差別を撤回し飽まで日本政府のモットーとする一視同仁的政策の恩典に浴し、而して指導し啓發して貰ひたいと云ふに歸着する。此の殊勝な心を推して考ゐるに、彼等はヨボと言ふ因襲的差別を以て日本人から目される事を一種の侮辱であると思つて居ることが分る。彼等は職業的自由が比較的困難であるが上に古來からの生業を支那人によつて侵害せられると云ふ有樣で社會的壓迫と經濟的迫害との二重の脅威に犯されて居る。之を救ふのは社會政策の外にない。然るに鮮人は懶惰な民族で、恩惠を與ふれば之れに狎れ、力行勤勉は支那人に及ばず、社會的自覺が毫もないと言ふ觀察を下すものがある。此の觀察も一理なきに非ずだが、餘りに鮮人を見縊り過ぎた觀察で、斯る觀察の下に彼等を放任すれば、益々彼等を惡化するに過ぎない。不逞鮮人の蠢動、不逞鮮人に煽動せらるゝ者、鮮人の自治を高調して大韓國建設の夢想を抱く者、朝鮮馬賊の出現等、何れも其の反動作用といふべきである。勿論濟し難い者もあるが、奉天地方の鮮人は多く政治的色彩より離脱した純朴なる農

民若くは商民で、彼等に對する社會的差別を撤回し眞に一視同仁の政策を施し、彼等の生活安定を計れば決して盲動し妄動する虞はないのである。

以上は抽象的論議であるから、一歩を進めて現在の奉天並に他地方に於ける社會的施設の狀態を略記し、在滿朝鮮人の要求する諸條件の概略を摘んで一言して見やう。奉天に於ける社會施設並に鮮人に利害關係を有する機關は今日のところ寧ろ退歩して居ると言つても失當の言ではない。奉天在朝鮮人の救護と授產及び指導を目的として總領事の指揮監督の下に生れた奉天朝鮮人協會は、奉天としては最も古い歷史と勢力を有する機關として一時社會的に經濟的に多大の功績を納めて居たが、昨年外務省及び朝鮮總督府より支出された救濟金の分配問題が禍根となつて、本年遂に解散の悲運に遭遇した。是れ退歩でなくて何であらう。折角鮮人の滿洲發展に對する保護指導機關であつた協會を解散せしめた事は、協會其物の恥辱に止まらず、多衆鮮人に多大の不幸と不安を與へ、而して川本協會長の失策と朴安等の公金横領事件は平和の奉天に一大波瀾と一大暗闘を誘致し、禍根を永久に殘したので、心ある人士は今に至るも痛嘆して居るのである。此の外現存の鮮人救護機關としては田原氏の經營する職業紹介、授產獎勵並びに融合親睦を目的とする滿洲朝鮮人親愛義會鮮婦に自活の道を授ける婦女融通會、青柳氏の經營する無錢宿泊所、教育機關としての朝鮮人普通學校及び施療院、保民會等があり、地方にも施療院の設けあり、何れも鮮人のために貢献して居るが、保民會を除くの外は總て當局者の補助も後援もないので充分その機能を發揮することが出來ず、殊に最も力を致すべき教育機關の如き至極小規模のものであつて、本年の如き入學志願者の五分の一すら募入し得なかつた狀態で、滿鐵の經營する支那人教育機關とは雲泥の相違である。斯くの如く文化政策を云爲する滿洲の中樞地たるグレート奉天に住する朝鮮人は精神的にも物質的にも殆んど全く其の文化的並に社會的恩惠より除外されて居るのである。

朝鮮人は言ふ迄もなく日本の新附民族である、彼等は我が皇道を根基とする一視同仁の惠に浴すべき可憐なる民族である、況や城外移住の鮮人をや。彼等の救濟、教化、善導について積極的施設をなさゞるは、斷じて其當を得たものでない。

社會問題彙報

消費組合の立直し調査會

農商務省は産業組合の弊害を一掃し組合の改善を圖り健全なる發達を促進せしむる目的を以て今回産業組合調査會を組織し應急策を講ずることに決定した調査委員には六大都市の消費組合を始め全國主要組合の代表者並に組合指導者、學者、各省關係官及び經驗ある實際家二十餘名を推擧し永續的に調査を行ふ方針であると元來物資配給並に販賣機關としては産業組合殊に都會地に於ける消費組合及び農村に於ける信用組合が最も重要なるに拘らず現在日本全國に於ける一萬四千四十七（昨年末現在）の各産業組合中その機能を十分に發揮し居るもの甚だ少數にして之が振興策を講ずる必要あるため農商務省は茲に東京、京都、大阪、神戸、名古屋、横濱、廣島、福岡並に北海道等主要都市の組合代表者二十餘名を招致して今後の對策を協議した。

今その不振の原因とも見るべきは資金の不足に因るものが多きを占めて居る關西方面は主に現金販賣を爲すが故に割合に此弊に陷ること少きも關東方面は多くは掛賣を爲す習慣から自ら運轉資金の固定を來し組合の基金にまでも累を及ぼすに至るものあり又組合員の無自覺に起因するもの例へば組合員でありながら自己の組合を利用せず他の一般小賣商店其他に走るが如き類である更に出資額不平均即ち組合員が各その財産狀態によつて出資する結果として多額の出資者が組合を左右する傾向を生じ從つて不正品販賣其他によつて私利を貪らんとする弊風を醸成するに至ること等であるがそれにも増して根本的なる不振の原因とも云ふべきものは適當なる經營者が居らぬといふ事であると認められる。

東京に東洋一の大公會堂

故安田善次郎翁の寄附金三百五十萬圓を以て東京市政調査會が日比谷公園内に建設のうゑ東京市に寄附すべき大公會堂の設計圖案に就ては茲に東京市政調査會で我國著名の建築設計家八氏を撰擇して其の懸賞競技に附したが其の結果右八氏は夫々心血を注いだ設計圖案を提出し其の總數十八種に上つたので之を右八氏及び調査會の理事六名の都合十四名より成れる審査委員會に附し爾來嚴重に互選審査中のところ今回早大教授工學博士佐藤功一氏の設計圖案が一等に當選した。

此の佐藤工學博士の設計に據つて實現すべき東洋一の大公會堂は先づ東京日比谷公園内の東北隅花壇の西側に位し濠に向つて北面した丁字形の堂々たる大建物となつて現はれるのである此の建物は一部八階、餘は六階、建坪一千坪、總延坪四千五百坪のもので公會堂と日比谷會館の二部に分れ建物の南部即ち花壇方面より入口は公會堂入口となし北部即ち凱旋道路に面した入口は日比谷會館の入口となる筈である建物内部の設備を示せば地下室には水浴場ボーリングアレー、ランニングドラックを設け更に一般市民の爲のレストラントも設備し一階は各種展覽會室とし二階には聽衆約二千五百人を收容し得る大講堂と聽衆五百人の中講堂と百五十人の小講堂と別に圖書室閲覽室を設け三階は調査會專用室、四階には三百人を收容し得る大食堂、五階、六階七階、八階は之を貸事務室とし屋上には屋上運動場と塔を設け塔には其の四方に直徑十尺の電氣時計を取付け更に水槽を設けて防水と

する事となつて居るが建物の構造は大體に於て鐵骨煉瓦造りの上石材テクカタ及びタイル等にて表舗した簡素な中にも中央と軒及び腰に裝飾した雄大にして且つ優美閑雅なる趣を失はぬ斬新な大意匠であると因に六月迄に豫算を編成したうへ秋頃より工事に着手し十四年度中に竣成の豫定であると。

大連市の編物講習會の成績

大連市が社會事業の一として西廣場の職業紹介所内で編物講習會を始めて以來希望者の多いと共に講習婦人の成績は其の熱心に依つて豫期以上のものがあると云ふ蓋し世間には生活改善が力說せられ服裝改善が唱へられて居る割合に其の實際的研究や實際的指導に缺けて居る折柄手を取つて敎へられると言ふことは一般家庭の渴望する處であるから所謂生活改善も文化生活も斯うした調子で步一步と理想の殿堂に近づくことを心掛ければならぬ冬籠り歲の永い蟄居期を服裝改善の上に最も有利に利用したことは講習婦人の非常な利益であつたに違ひない而してそれは立處に新學年小學兒童の服裝に表はれて來た。

春と子供服は何處までも活動の自由を本位に置かなければならぬが本學年にはその理想が實現せられ殆ど全部が輕いスエター姿で編方なども可なり巧妙に上達を見せて居るのは喜ばしい事である夏の服裝にも相當な現れがあつてよいと思ふが市の社會事業部では編物の好成績に鑑みミシン講習を開始する事になつたところ既に申込者も多いといふから盛大に開講するであらうミシンを習つてそして子供の爲めに便利な洋服を拵へて着せるこれ丈の心が母親に持てる丈でも其の一家分けても子供達の大きな幸福であらう若し親の慈愛を金でのみ現はさうとする植民地氣質の母親がありとすればそれでは如何に心配しても子供によい敎育は出來ないであらう。

住宅組合に就いての注意

住宅組合法が昨年から此の關東州にも實施されてから組合組織を計畫するもの著しく增加し既に設立願書を提出したもの又は目下その準備中にあるものが非常に多い之は植民地に永住の心がけを涵養する上からも住宅緩和のためにも非常によい現象であると云ふので民政署當局なども欣んでゐるが遺憾なのは之等設立出願者の多くが住宅組合法の精神に添はずその法律に規定されてゐる事項すら之を閑却して手續を進めるものが多い事である住宅組合法そのものは簡單だが適用さるゝ產業組合法または民法の條項が非常に多いために其の研究が充分でないものもあつて折角提出した設立願書も大いに修正を要するので當局では取扱上困却してゐるとの事だ。

住宅組合が建築すべき住宅は小住宅を目的とするものでその出資口數なども本則では三十口を限度とし一口の金額三百圓である然し場合に依つては五十口まで增加する事を得そして坪數は關東州に於ては延坪五十坪を越ゆることが出來ない規定である組合員は相續またはは讓渡に依る場合のほか中途より加入することを許さないから其數を增加することも出來ない譯である他の組合に加入する者または現に住むべき住宅を所有するものは住宅組合に加入する事は出來ないが古い家屋を購入する方法を採つても差支なく出資拂込金完了の前に住宅に抵當權を設置してその所有を自己のものとされる規定もある組合に對しては國有地等を自由契約に依つて拂下げ又は貸下げをなすことも出來るし地租以外の租稅を免除される特典等もあるから住宅建築を希望するものは宜しく住宅組合を設立してその目的を貫徹すべきである關東廳でも內地都市の例に倣つて成るべく小組合の多數設立されること

を歡迎する方針であるさうだ猶は住宅に對しては對人信用に依る組合員個々の調査を成るべく嚴重にする筈であると聞く。

實際的に成り行く産兒制限

産兒制限問題は其後聲の低くなつた割合に實際は内に深く泌み込んで而もそれが全國に行渡つて來る事實が現はれて來た石本惠吉氏夫妻や安部磯雄氏等が協同して發刊した雜誌「小家族」は間もなく廢刊になつた儘になつてゐるが東京府下高田町の安部氏の許には日本全國から産兒制限に就ての問合せがあり中には私生兒を生まれねばならぬ破目になつた母親ばかりか立派な夫婦關係でありながら子供の生れることを恐れて「何とか墮胎の方法はありませんか」と云ふ問合せもある墮胎は醫師の許可が無い限りこれを實行すれば法に觸れることは承知の事であらうに此の問合せは確にせつぱ詰つた世相を物語てゐる。

安部氏の産兒制限が主として經濟上から來てゐるので今日のやうな世態に此の問題が中産階級の夫婦に考へられるは當然で安部氏は各地から産兒制限の講演で引張凧である冬の休暇には大阪から關西かけて廻つたが此の春休みには鳥取から島根の山陰地方へ産兒制限の行脚に出蒐けた安部氏のやうな人格高潔な士によつてなさるゝ事はこの問題を眞面目に普及理解せしむに與つて大いに力があるけれどもが過日男爵石本夫妻が足尾銅山に働いてゐる女房達に「子を産むな」のビラを撒いてやんやの騷ぎを演じさせたのは却つて内務省邊から明かに産兒制限の取締令を出させる動機になりはしないかと言はれてゐる。

大阪に於ける三勞働學校

勞働者の智識慾に備へんため昨年來大阪に勞働學校が三つも出來て今春何れも第一回の卒業生を出したが三者何れも異つた色彩を持つて居る三者のうち最も古いのは賀川豐彦氏を校長とする大阪勞働學校で西區安治川一丁目安治川教會内に設けられ入學資格として「勞働者にして勞働組合に加入せるものに限る」と制限して居る關係上生徒は勞働運動の猛者揃ひで勞働爭議中などは出席者が半減するといふ有樣である昨冬第一回卒業生四十名を出し目下第三期修業中のもの五十一名であるが其の所屬組合に機械工組合廿七名、造船工組合七名、合同組合六名、向上會六名、電業員組合三名、伸銅工組合二名、それから印刷工竝びに交通勞働者各一名である。

第二は基督教青年會の經營する市民勞働學院であるが之は勞働運動の促進よりも勞働問題に對する理解を教育の主眼としてゐる生徒も實際勞働運動家は殆ど絕無で銀行、會社員店員、教師、僧侶、官吏、職工、看護婦等と他方面に亘つてゐる四月から開講した第二期には新聞學等を課することになつてゐる講師は凡て基督信者である第三は協調會が市外長柄鶴滿寺において開校してゐる勞働學院だが「勞働者の智能啓發品性向上」を目的とし講師も小河、關、神戶、青柳諸博士の外、府立中等學校々長が大部分を占めてゐる而して其の生徒は住友各工場、合同紡、大阪鐵工所等に勤勞してゐる職工である。

大連に於ける不良少年少女

滿洲に於ける不良少年少女の取締に就てはまだ内地程に嚴重でないが其の必要を認めない程に滿洲イナ大連の少年少女或は青年が事實美しいものであるかと言ふと決して安心を許さないものがある思想的には中々平穩でもあり近來恐ろしい犯罪を惹起すやうな低能兒も居ない樣であるが其の代りに一部の不良青年や不良老年が相當惡い種を撒いて性的方面には可なり恐るべき惡影響のあることは常識

的にも實際的にも認めぬ譯に行かない而して其方面に惡く長けた少年少女の危機は正にこれからである挑發的な繪看板を選んで活動を漁り歩いたり華かな人寄りの箇所を迂路つき廻る少年少女や青年達は常に空想を擅まゝにし例へば活動の畫面から一種の糊塗をやると同時にそつと婦人の手を握つたり文通したりする大連でも此種の魔手にかゝつて泣いて居る若い女が決して尠くないから餘程注意を要する事柄であると云はれて居る。

國家主義提唱の國體聯盟

左傾思想とその極端な反動思想とで混沌を呈して居る我國の思想界に國家主義を提唱し國民の立つべき道を指示しやうと云ふ目的で文學博士芳賀矢一、國士館學長長瀨鳳輔、後藤武男氏等によつて大日本敎化團體聯盟が組織され四月三日東京上野自治館で發會式を擧げた此の團體が如何なる事を爲すかは各方面人の注目を惹いてゐるが發起者の芳賀博士は「贊成團體は日本皇國會、斯道會、日本魂社神宮奉齋會、高輪義士會等十六團體で實際運動としては演說講演等を行ひ示威行列や腕力制裁は絶對にしない我々の行動が伊國のフアスシスチや瑞西の反動革命運動と一脈相通ずるやうに云ふ人もあるが我々は思想の方面から進むのであるから非常な相違である而して或る問題に對しても十六團體が必ずしも一致しなければならぬと云ふ譯でもなくその去就は自由にしてある世間には反動運動を標榜して金儲けをして居る者もあるやうだが我々の聯盟は各團から會費を徵收する外に決して鐚一文の寄附をも募らないと語つた。

井上哲次郎博士は此の聯盟につき批評して曰く反動運動は今や世界的傾向で政治、產業婦人等の各運動に著しい徵候を見るが是が極端に趨るのは所謂左傾運動よりも尙惡く過激に渡れば一層危險である併し芳賀君等の運動はそんなものでは無いらしく又武力を用ひて活動するものでもないらしく寧ろ精神的に一致して進みたいと云ふやうに見ゆる此頃日本にも反動運動として極めて殺伐な行爲を爲すいろ／＼な團體があるやうだが是は社會の風敎を害するものである合理的な改造はその中庸を行くにあるやうだ我々の考では日本は與へられたる國體を基として萬民の等しく住心地よきやう合理的に改造して行く所に本當の改造があると思ふと正にその通りであるが夫れには社會政策を各方面に亘つて遺憾なく實行することが何よりも肝要である。

波蘭に於ける家庭雇傭契約

歐洲大戰後婦人の勞働問題はいろ／＼波瀾を起して居るが最近ゼネヴア國際聯盟インターナショナル勞働局から出版せられた時報を見ると波蘭に於ける家内雇人の狀態を改善する爲めに一つの提案が載せられてある卽ち家庭內雇人の雇傭契約は雇人と被雇人との雙方の合意によつて契約書各一通を取換すものであるが其の契約解除の條項として種々なる條項を擧げ雇主から云ふと下の場合には無條件で解雇が出來る卽ち(一)雇人が雇主や其家族に許し難たい行爲をした場合、(二)雇人が任された子供を疎略にした時、(三)泥醉し又は不道德の行爲をした時、(四)刑事上の罪を犯し法律違反の行動をした場合、(五)病氣で三週間以上仕事をしなかつた場合。

更に雇人の側から云へば次の場合には無通告で暇がされる卽ち(一)雇主が雇人に對して不都合な行爲をした場合、(二)雇主が住宅を轉じた場合、(三)雇人の良人なり妻なり近親なりが死んだ場合、(四)雇人が結婚する場合で猶ほ此規定によると家庭內雇人の勞働は日曜以外の日には二時間の休みを入れて一日十二時間以上を超ねぬこと日曜や休日は六時間

を超ゆぬ事そして一ヶ年勤續すれば二週間の休みをとることが出來その間は素より給料を支拂はせる若し此の休みの間に雇人が雇主の家で日を送らずに他所へ出掛けるやうな場合には普通の給料の他に其三倍だけの特別給料を支拂はせることが出來るのだ。

大連の出産率と産院計畫

大連に於ける社會施設のうち最も重要であらねばならぬ産兒保健に對する施設が餘りに閑却されてゐる事は市民の等しく遺憾とする處であるが今警務署の統計に依つて見ると大連の出産率は内地に比し一割四分強の増率を示し十一年度一箇年のみでも實に四千八百三十五名の出産に達してゐる而も此の出産時に際し産婆を傭ひ醫師を招き溫かい産褥の中に安々と分娩するもの極めて少く十中八九は無限の不安を抱き乍ら心を痛めて分娩する者のみである殊に中産階級以下の家庭にあつては此の慶事に際し意外の悲惨事を招來する實例も少くなく憂慮に堪ねないものがある大連市の當局と滿洲赤十字大連支部では此の實狀に鑑み簡便にして安價に而も理想的に安心して分娩の出來る産院を設置すべく計畫中であると云ふから早晩物に成るだらう。

工場に於ける今後の幼年工

「滿十四歲以下の幼年工を工場に使用することを得ず」今度議會を通つた工場勞働者最低年齡法で此くの如く規定されたが此の法律のため現在の幼年工はドゥなるであらうか內務省社會局の河原田第一部長は語る。

現行の工場法では滿十二歲以下の幼年工の使用を禁じ輕易な作業即ちマッチ工業や染織工業などは除外されてあるが今度は滿十四歲以下は絕對に使用出來ない事になつたのである此の工場勞働者最低年齡實施に關聯して現行の工場法に規定してある最低年齡十二歲とあるのを削除することになつたので先づ之れが施行に當つて勅令や省令を新たに制定しそれと同時に十四歲以下のものゝ使用を絕對禁止する段取となるのであるから是非八九月頃迄には實施したい考へで目下立案中である唯十四歲以下と制限はあるが十四歲以下でも小學校を卒業した者は使用してもよいといふ事に除外してある併し現在の小學校令では十四歲以下では卒業には達しないから此の除外例は實際には殆ど空文である尤も最近の計算によると工場法を適用して居る日本內地の工場中十二歲以下の幼年勞働者を使用してゐるものは染織工千九百四十一人、化工業七百人、雜工業百三十六人、機械工九人、飲食物工業三十二人、合計二千七百十八人であるが今度の工場法の改正で同法の適用さるゝ工場は使用人員十五人以上を十人以上と擴張されても太した增加はなく三千五百人位の見込である而して工場勞働者最低年齡法實施前の使用者は其儘使用出來る事になつてゐると。

愈々建設さるゝ滿鐵公館

大正十年以來の懸案なる滿鐵公館建設に就ては從來種々の取沙汰があつたが愈々十二年度豫算に計上し建築することゝなり建築課に於ての設計案も既に成立した今後の設計の內容を聞くに延坪二千四百七十四平方米突、階下一千五百四十八坪方米突で階下は柔劍道場相撲場、體操場、食堂、浴室、其他新聞雜誌閱覽室等に區分し階上には大トラックを設け更に倶樂部室、玉突場、理髮場等を設け公館として間然する所なきものたらしむべく而して豫算に計上されたる十七萬圓の資金を以て建築に着手し明春五月頃までに竣工せしむる見込であると本公館は五十間に十二間の大建築物で竣工の上は啻に滿鐵社員のみならず一般にも開放して成るべく廣く使用の便宜を與

ふる方針であるとのことである。

徹底的に所謂部落民の改善

全國各地を擧げて次第に熾烈を加へて來た部落民の人間解放運動は團結した水平社の直接行動となり今や全く灼熱して火の如き勢ひを示してゐる之れに對して內務省は曩に議會に於て述べた如く從來の消極的なそして姑息な恩惠的な改善方法から醒めて積極的に眞に意義ある部落改善方策を執る爲め近く全國の各府縣から部落民を理解し且つ部落の事業に關係を有する官民を召集して水野內相及び塚本社會局長官以下出席のうへ其の謂ふ所の部落改善方案に就て大協議會を開く筈であるが其內容は本年度の內務省並に各府縣負擔の部落改善費總額四十九萬一千圓中から社會局が二十七萬五千圓を得て之を左の三項に亙つて振當てようといふのである。

第一從來部落民の生活が集團的であつた點から部落內の衞生狀態並に土木狀態に於て改善を要するものが多くこれを都市計畫に基いて根本的に地區整理を施し場合に依つては其の集團的な彼等の生活に據つて蒙り易い周圍からの因襲的な壓迫を打破する手段として部落民を各地方へ移住せしむる方針を執り之等の費用として十一萬二千圓を計上し第二には彼等の生活の改善を促がす上から部落民に文化の念を高めさせる必要上貧困の爲めに中等學校以上に入學し能はぬ者に對して奬學金を與へ本年度より百名の中等學校入學者五十名と專門學校入學者並に現に在學中の者で學費不足の爲め退學の悲境にある者等に對して六萬三千圓を補助交付する外更に第三として部落民が多年周圍から排斥且つ壓迫されてあることに據つて必然的に生じて來た部落民の猜疑的な感情を極力融和させる爲めに各府縣の部落に密接な關係を持つ者を集めて地方每に法人團體を作らしめ時々講習會若しくは講演會を催し或は雜誌を刊行して部落民の向上とその感情の融和を圖るべく之れが經費十萬圓を計上してあると云ふことである。

西公園隣地に淺草式設備

大連市西公園の隣接地元農事試驗場跡約一萬四千坪は中央土地株式會社が拂下げを受けて愈々之に娛樂機關の諸設備を施すことに決した同社が關東長官宛提出した利用計畫書を見ると地區割總面積一萬四千七百六十一坪のうち私設道路面積七百七十六坪を差引いた土地を神社敷地、娛樂地區、割烹地區、席亭地區、店舖地區、住宅地區の六區に大別し之れに建物として神社一、劇場三階建一、活動寫眞館三階建等の外、洋食、食道樂、支那料理鮨屋、蕎麥屋、飮食店等の大小割烹店六十八玉突場、弓場、的場、釣場、玉突、ボーリング等の遊戲場並びに大小店舖百九十四、小住宅八十八を建設し此の總坪數一萬七百九十坪延坪數二萬三千六百九十坪、建築費三百三十萬九千三百五十圓を要する計算で五箇年間に完成することになつてゐる右のうち本年度には活動寫眞館、小割烹店六、中割烹店六、小店舖三十六、計四十九戶を完成しやうと云ふのであるが尙ほ中央土地會社では現在拂下げを受けてゐる土地の面積狹少のため之れに活動寫眞館及び劇場等を建設し所謂東京の淺草及び大阪の千日前の如き繁榮地區を現出するため猶ほ水族館又は動物園等の有益なる遊樂機關の設備を充實するため拂下地に隣接した西公園の西北部約一萬八千坪を無料拂下げて貰ひたいといふ請願を出すと同時に元農事試驗場跡で現在の拂下地域以外の約六千百坪の拂下げをも受けて實際の利用に當て完全なる諸娛樂機關及び繁榮地の構成に努め植物陳列所、溫室、商品陳列館及び市民館等をも建設したいといふ請願書を提出した。

△□▽ 研究資料 △□▽

五月一日メイデーの由來

伊藤久秋

五月五日は男兒の節句で五月と云ふ月は日本に於ても目出度い月となつて居るが西洋に於ても又不思議に同樣である「人生の五月は一度花咲き再び來らず」とはシルレルの有名な句であるが青春と云ふ意味を人生の五月と云ふ言葉で表すのは必ずしも獨逸に限らない英語にも其用例がある青春は潑溂の時期で從つて文豪チョーサーに於て「五月の月の如く潑溂」と云ふ言葉がある又青春は美の時期である從つてシェクスピーアに於て「彼女のいとこ……美に於て彼女に勝れること、五月の朔日、臘月の晦日に勝れる如し」と云ふ詩美的に綴つた文句さへもある。

五月を英語でメーイと云ひ獨逸語でマイと云ふ其の語源には異說があるが普通マーキユリー神の神母であるマイアの名に出づるとされる此マイアに對し羅馬人は此月の一日に犧牲をさゝぐるを常とした而うしてエゼリア神の洞窟に行列して詣るを習慣とした又四月の二十八日から五月の二日に至るまでは花の神樣であるフロラのために祭典が施行された斯くの如く五月或は五月一日は古くより祭禮の時となつて居たが中世紀及びチユードル朝の英國に於ては殊にメイデー卽ち五月一日は大祭日と看做されたのである卽ち老若を問はず凡らゆる階級の人々は未明に起きて行列をなし森に至つて木の枝や花を携ねて歸る其行列の中心にはリボンや花束で飾られた所謂五月桂を持つた人が居る要するに五月一日は羅馬に於ても又英國に於ても行列をやる日であつたが今日に於ては五月一日は勞働者の行列の日その示威運動の日として知られ

て居る。抑も勞働者と五月一日のメイデーとは如何なる時代より關係があるのか詳しいことは解らぬが史實の徵すべき所によると一五一七年の五月一日に倫敦の徒弟連が特權をもつてゐた外國人を嫉妬してこれに反抗を敢てしたことが見られて居る併しメイデーが勞働者の祭日となるに至つたのは蓋し米國に淵源するのである。

一八八四年米國の統一勞働組合聯合會はシカゴに會議を開いて八時間勞働を提唱し一八八六年九月一日以來八時間を以て合法の勞働時間となすべし全國の勞働團體が之を採用せむことを望むと云ふ意味の決議をした此の決議には贊同する者もあれば又贊同しない者も居た併し翌年一八八五年の會議は再び八時間勞働は一八八六年五月一日に始まるべきを決議し更に附屬勞働組合にして八時間勞働の實行を欲せざる者と雖も時間短縮のための罷工をなす勞働團體を財政上援助せんことを要求すと云ふ決議を併せ下した斯くて翌一八八六年に至つて八時間勞働のために同盟罷工及び示威運動が頻起し殊に五月一日に於て大同盟罷工が決行さるゝこととなつた此運動の經過を詳述する事は出來ないが兎に角此の運動によつて其目的たる時間短縮を達した者(初めは八時間運動であつたのが後には單に時間短縮の運動に化した形勢が多い)は二十萬人に垂々とした而して同盟罷業の中心はシカゴであり八萬人が之に加はつたニユーヨークシンシナチ等が之に次いだ斯くて此運動は一見成功に終つたが併し全然成功であつたとは云ひ難い詰り一方に於て時間短縮を實現するも他方に於て夫れだけ賃銀が減じたり或は出來高賃銀に代へられたりするならば勞働者にとり必ずしも利益であると云へないからである而も當時には此形勢が見られたのである併しながら米國の勞働組合は此の一八八六年の五月を其後常に喜びを以て回顧するを常とし斯くして五月一日は爾來米國勞働者の記念日となつたのである。

米國に於て始まつた勞働祭が歐洲に於て認められたのは一八八九年巴里に開かれたインターナショナルの會議に於てである當時巴里會議は法律上八時間勞働を規定することの必要を宣言し萬國の勞働者にこれがため運動を起すべきことを慫慂し又女工を男工と同等に見そして國民的差別をつけず同一の勞働には同一の賃銀を拂ふべきことを唱へ完全無制限なる結社權

を主張したのであるが最後に毎年五月一日を以て萬國の勞働者は八時間勞働のため總示威運動を決行すべしと決議したのである斯くて一八九〇年五月一日には歐米各國の勞働者は一齊に立つて其勞働祭を祝したのであつた以來此の祭日は英米獨佛伊墺波西丁和等の諸國においても行はれ各國の勞働運動史上に活氣と騷擾とイナ血と涙とをさへ流したことがある。

日本に於ては大正九年始めてメイデーなるものが行はれた卽ち東京上野公園兩大師前に催されたメイデーは會衆約一萬に達し衝突と檢束と幾多の波瀾を經て治安警察法第十七條の撤廢、失業の防止、最低賃銀法の設定を決議し讀み上げられた宣言文と撒布された宣傳ビラに勞働祭を祝福したのであつた東京以外では横濱及び京都で小規模の勞働祭が催されたのである爾來引續いて毎年行はれる勞働祭が如何なるものであつたかは尚世人の記憶に新なる所であらう私は日本の勞働祭が徒らに騷擾と爭鬪の跡をとゞめずして其の最初の目的のために健全なる歩武を紊さゞらんことを望むものである斯くすれば五月一日は啻に勞働者の祭日たるに止まらず凡そ社會問題を了解する總べてのものゝ祭日となり靑春と希望の月である五月をば更に喜びを以て回顧し且つ期待することが出來るであらう。

中央卸賣市場法

生活必需品配給制度の革命

中央卸賣市場法案は議會を通過した議會を通過する法案の多くは不幸にして國民の生活其物には餘りに緣遠いものであるが此の法案ばかりは吾々の食膳に上すべき副食物の價格を調節する爲めのもので所謂「飯の問題」の解決に一指を染むるものであることを先づ嬉しく感ずるのである現內閣成立の主たる使命は言ふ迄もなく物價調節にあつた今回の中央卸賣市場法案の如きは內閣成立と同時に緊急勅令を以て發布し之れに要する經費もまた責任支出によるべきものであることは當時の事情から推して論の無い事であつたのが今はそれに就いて多く言ふまい兎に角現內閣が縱令提案の動機が社會事業

調査會其各方面からの切なる建議要望にあつたとは言ひ自ら立案者の地位に立つて遂に今議會に此法案を提出したといふことは聊か國民の滿足を買ふ所があるであらう何となれば中央卸賣市場法は表面頗ぶる穩健婉曲の文字こそ使用されて居るが或意味に於て正しく言へば之が運用方法の如何によつては多數國民の長く期した所の生活必要品たる生物配給制度の立派な革命であるからだ試みに現在の魚類、肉類、鳥類、卵、蔬菜及び果實の卸賣市場を一瞥せよ品物の保存に關する諸般の設備將た輸送機關等に就ては殆ど何等の注意を拂つて居ないし其の取引方法に至つては愈々馬鹿々々しいものがある從つて荷主たる生産者は自分の持つて行く品物が幾何の値に賣れるかに就て全く不明であり一般需要者も亦新鮮ならざる物にどれだけ多くの消費金額を拂つて居るか知れないのである此くの如き制度の存置する間は何時になつても不當な利を貪る中間商人や小賣商人の絶ゑないことは寧ろ當然の成行である然るに今回の中央卸賣市場法即ち是等生物卸賣市場法では先づ第一に市場の開設者を地方公共團體とし只特別の場合に於てのみ民法第三十四條に據る營利を目的とせざる法人にのみ許すこととして居るし市場の構造、設備、管理、取引方法並に市場開設者と荷主との契約に關し監督上必要なる命令を發したり處分を爲すの權能は凡て主務官廳が之れを有するのであるから此點において已に吾人の意を强うするものがある。

先づ設備に關する點を擧げると主務大臣は冷藏庫又は冷藏船等貯藏の目的を完全に達し得る設備を有しない市場や共市場と生産地との間に於ける輸送機關引込線或は船の繫留場等を整備しないものには開設の許可を與へない然も一方に於ては是等設備に要する費用の三分ノ一以内の補助を與ふる便法を設けて居る而して又若し補助の條件の違反したり之に基く處分に應じなかつた場合には補助金の全部又は一部を交付しない規定になつて居るから是等諸點を綜合すると現在の市場設備に關する缺點は凡て除却し得らるゝ譯である次は取引方法の改善と之れに伴ふ賣益であるが市場開設者は開設認可の申請の際に先づ業務規程なるものを作製し(一)取扱品目(二)荷主より市場が收受する使用料、保管料及び手數料(三)卸賣業者(地方官の許可を受け一定の保證金を納付

せねばならぬ）が小賣人より收受する手數料を定めて主務大臣の認可を受けねばならぬ以上は手續から云へば至極簡單なものであらうが是れ明かに中央卸賣市場開設者並に卸賣人の收益步合を制限公定せんとするもので見方によつては實に物價標準相場制定の第一步であると言へる從來最も問題のあつた小賣人の收益步合に付ての制限は法文には何等の規程が無いが取引賣買の方法が業務規程の定むる特別の事情ある場合を除いては總て糶賣であつた然るに此法に依れば現在の如く暗號や符號によらないで金額を以て表示するのであるから何人にも其原價が判り從つて小賣人も不當な收益は得られぬ事になる故に事實上利益步合は制限されたものである而して斯く金額を以て賣買價格を表示するの結果は如何なる素人の生產者も荷主も自分の品物が幾何に賣れるといふことが直ちに判明するから値段に不服なる場合は其日は賣らずに置いて冷藏庫に保管し取引を他日に延ばすことも出來從來のやうな不安が除かれることになる。

右の如く一種の收益制限方法を執るが爲には嚴密なる監督を必要とすること勿論である卽ち主務大臣は何時でも業務規程の變更、業務又は財產狀況の報告、其他に關し事務の監督上必要な命令を發し又は處分を爲すことが出來場合によつては市場開設認可の取消や業務の停止を爲し進んでは法人の役員の解任さへも出來るのである一方地方官も亦主務大臣と同じく市場開設者又は卸賣業務者及び之れに關する帳簿、財產、其他の物件を檢査するの權能がある而して市場開設者と卸賣業務者との關係に於ては卸賣業務者は開設者に對して賣買値段並に取引高を報告する義務を負ふし若し不都合な所爲のあつた場合には卸賣人の業務を停止し若くは千圓以下の過怠金を課し又賣買に參加するものゝ入場を停止することが出來るのである其他主務大臣の監督權行使に對する職務執行妨害又は賄等に付ては多くの罰を規定して居る。

次は中央卸賣市場の開設された場合、既設市場例へば魚河岸なり青物市場なりが何うなるかと云ふと第六條には主務大臣は中央市場開設者の意見を聞いて中央市場取扱品目につき當該指定區域內で類似の業務を爲す既設市場の閉鎖を命ずることが出來るし又然らざる場合と雖も取扱品目を追加して既設のものと對抗せしむることも出

來るのであるから先づ絶對に兩立は許さないものと見て誤りはないのである然らば閉鎖を命ぜられたものは何うなるかといふと其の市場開設者及び卸賣の業務を爲すものに對しては勅令の定むる所によつて損失を補償するのであるが其の補償金額は當事者の協議に依て定むるのであつて若し協議の調はない時は地方長官に於て之を決定する又若し決定に不服があれば九十日以内に通常裁判所に出訴することも出來るのである。

此の法律が國民生活の安定上必要なるものであることは前述の如くであるが之が實施については種種の準備を要しなかく〳〵早急には行はれない樣である先づ第一に解說としての施行細則を出さねばならぬ開設者の作製すべき業務規程に就ても新しい事業だけに種々の面倒も伴ふであらう又縱令夫等の事がスラリと運んだ處で各都市に於て新市場を何處に設けるか分市場を何うするか數をどうするか閉鎖を命ずる既設市場に對する補償額を幾何にするかといふ樣なデリケートの實際問題になると容易に進捗しさうにも思はれない斯く考へて來ると此法律が速かに而も立派に行はるゝか否かは獨り役人の手腕とか事務的能力といふ樣な問題でなくて寧ろ役人なり當業者なり更に廣く云へば一般國民の理想と人格の問題に歸するやうに思はれる何故なれば已に述べた通り此法案は消費經濟に關する國民的機關を作らんとするものであつて同時に副食物配給制度の革命であるのだから生產者も需要者も殊に中間に立つて居る市場經營者も卸賣人も小賣業者も其の總てが法律の趣旨を諒解して協同一致大きな國民經濟の立場から滑らかに運用して行かうといふ精神があるのでなければ施行迄に暇取ることは勿論施行期に入つても完全な運用は迚も望まれないのである。

換言すれば若し既設市場側の人人が依然熊手主義の信條を捨てなかつたり卸賣人小賣人がボロイ儲けの味を忘れられないと云ふことであれば而して又一般市民が消費經濟に對して今迄のやうに無關心であるならば此法案は全く無用の長物に終るのである更に換言すれば中央卸賣市場法案が滑らかに而も完全に施行さるゝか否かといふことは實に我國大都市住民に共同的相互的精神の試金石であるとも言へるのである終に言つて置きたいことは若し此法律が全體を通じて妥協的であり寬大であるのをい

い事にして仲間商人輩が下らぬ細工をしたり妨害をしたりするならば國民全般の大なる怒りを買はねばならぬことを今から覺悟せねばならぬ此の滿洲の都市にも早く斯樣な新法律を適用して市民の實生活に必要なる社會的施設の實行を見る樣にしたいものだ。

不良青少年並に少女
に關する或向にての調査

不良青少年少女の輩出は社會問題上最も注意すべき現象で近來大連にも不良性を帶びた青少年の多きを加へ來れるは等閑に附し難き問題である右につき內地の或向での取調を示せば左の如し。

第一に保護するべき不良少年少女自身から見て行くに(一)彼等二十名に就き調査が不良に陷りたる原因は監督不行屆十、芝居活動見物を好むもの五、先天的に低能なるの二、繼母との感情の行違ひ一惡友の感化一、貧困なるに虛榮心に富むため一、(二)惡癖は全部竊盜、(三)年齡別を見るに十八才未滿の者は一名だけで自十才至十五才男十一名女一名、自六才至十七才男六名女無、自十八才至二十才男二名女無、(四)敎育程度は尋卒男四女無、尋六在學男三女無、尋四年程度男六女無、尋一年在學男一女無、尋二年程度男三女無、無敎育男二女一(五)身體の如何は強健強壯なるもの男四女一、不具男一女一(六)性質の種別は怠慢男二、愚鈍五、狡猾男五女一、活潑男四、溫順男三(七)職業別を見るに男は樂隊手一、運動手見習二、炭坑日雇人夫五、家事手傳三學校生徒四、無職四、女僧家事手傳一、(八)飲酒はまだ一名もやつて居ない。第二に彼等扶養者の狀況をみるに(一)男の方は兩親あるもの十、實父あるも繼母なるもの二、祖父兩親なきもの一、實母あるも父なきもの一、父あるも母なきもの一、實兄あるも父母なきもの一、實母あるも繼父なるもの三女は實父あるも母なきもの一(二)扶養者の職業別を示せば炭坑採炭夫二、左官職一、日雇九、郵便集配人一、野菜行商二、荒物商と襤褸屑買二、日雇一(三)扶養者の敎育程度は無敎育六、尋四年程度三尋常三等卒一、自己の氏名を書き得るもの七(四)扶養者の資產狀態は動產不動產見積千圓一、動產

同五百圓二、同三百圓三、無資産一三（五）少年少女に對する彼等の待遇は普通十、優遇四、稍々優遇六（六）彼等の取扱方は放任十嚴重三、稍々嚴重七（七）家庭の狀況は圓滿十一、不和六、普通三（八）扶養者の飲酒程度は一合位四、三合位二、四合位一、五合位五、無酒量八等である。

之によつて之を見れば世の謂ゆる不良少年少女が如何なる環境に育まれ居るかゞ明瞭になるであらう彼等は前記の統計に明かなるが如く決して幸福なる家庭の人ではない猶ほ或人の談によれば警察署などが徒らに眼を光らして彼等を檢擧し謂ゆるその筋のブラックリスト中の人とずると云ふことは大いに考へものである蓋し一度之れに記入されたものは何處に行つてもちやんとその筋の手によつて本人の履歴が影の形に添ふが如く附き纏ふから本人の將來のために非常なる障碍となるからである殊に女は餘程寛大なる處置を取らねばならぬ警察は彼等を徒らに檢擧するのが目的でなく寧ろ彼等を保護するのが本旨であると併し不良青少年少女を自由に社會内に放置し置くことも社會に不安を感せしむるもので殊に二十歳以上の不良性のものは容易に改悛の望みなきもの十中七八を占め居るを以て社會保安のため別に相當取締の手段を講ずる必要があるだらう。

過激派の赤化宣傳

過激派の赤化宣傳は間斷なく行はれ居るのみならず近來益々積極的に行はるゝ樣に認めらる宣傳の本家は言ふ迄もなく莫斯科政府に在りて政府部内に政治探偵部が設けられメシチエリヤノロフと云ふが其の親玉にて八方の探偵宣傳員を指揮して其の網は可なり手廣く周到に張られて居る東洋に對しては齊多の支部が總支店格にて釆配を振り恰克圖、庫倫、浦鹽、哈爾賓、北京、天津、上海と云ふ如く夫々支部が設けられ其處から取引店やら番頭が拔目なく活動する組織となつて居る即ち露蒙國境の恰克圖又は外蒙古の庫倫は蒙古の宣傳に當り浦鹽又は哈爾賓より店の格が一枚上にて日本や朝鮮宣傳の根據をなし殊に朝鮮に對しては此處を策戰本部にして陸路その魔手を延ばし日本の主義者や不逞鮮人を手先に朝鮮を攪亂する宣傳機關さへ出來て居ると云ふ一方哈爾賓向の宣傳物にて一纏めにして黑龍鐵道にて送り來る場合は之を浦鹽より分配するさうである。

調査記事

宏濟善堂の救濟事業

大連に於ける支那人側の唯一社會事業

大連に於ける支那人側の社會事業たり又その救濟機關たる宏濟善堂の事に就いては、既に二月號の本誌に其の一班を報道して置いたが、漏れたる節も尠からざるを以て、多少の重複を厭はず、茲に重ねて紹介する事とする。日本人側の施療機關として病弱者、敗殘者の味方となり其の救護者たるは大連慈恵病院あるのみだが、支那人側の救濟機關としては宏濟善堂が其の唯一のものである。前者は救濟の範圍が醫療救治の方面に止まるも、後者は附屬病院を設けて施療救治に當ると共に、社會の落伍者、敗殘者老者、幼者、孤兒等に對する恤寡、撫孤、養老、育嬰、義葬、濟困等凡らゆる慈善救濟事業に亙りて其の社會的事業の使命を遂行して居る。

宏濟善堂は明治四十一年五月十五日支那人有志に依つて設立せられ、以て今日に至つたものであるが其の創立當時は日露戰役後大連が我が治政下に異常急激の發展を遂げた折であつたので、直隷及び山東方面から凡らゆる雜多の支那人が蝟集し來り、其の中には勞働者もあれば浮浪者もあり、善良なる者もあれば惡德なる者もあり、それが草創當時の混沌たる社會狀態と相俟つて甚だしく社會を混亂せしめた宏濟善堂は此の打捨て難い社會狀態に鑑み其の救濟及び善導のために設けられたもので、之が目的使命は今日に至るも固より同一であるが、其の事業の部門は左の如く別けられてある。

恤寡事業	撫孤事業	育嬰事業
養老事業	施　棺	義　葬
濟困事業	施療事業	敎化事業

當初の宏濟善堂には勿論その總てを經營するに足るべき充分の資金があつた譯でない。其の維持經營に要する資金は主として篤志家の義金に據つたのである。唯當初の宏濟善堂には彩票局があり、彩票の發行を容認されて居たので、該發行に依て得た利益の一部を基本金に積立つる事が出來た。そこで其の積立金から參萬五千餘圓を割いて貸家を建設し、夫れに依て得た收入を經營費に充當したので、不充分ながらも事業を遂行することが出來たのである。大正八年頃には基本金五萬五千餘圓に達し、貸家の家賃收入年額貳萬八千圓に上つた事もあり、關東廳でも年額約九千圓の補助を與へたので、幸に經營難を免れたが、其後彩票局が廢止されて夫からの利益金が上らぬ事になり、而も年々支那人戸口の激增と共に宏濟善堂の事業も擴張の必要に迫られたので、今日では大分經營難を感じて居る樣だ。今大正十一年の收支豫算を見るに次の通りである。

大正十一年の經費收支豫算

△收入の部

一、銀五萬七千三十五圓

內譯
一、基本財産收入
貸家料　三一、四五四圓　預金利子　四、一二五圓
二、關東廳補助金　九、〇六〇圓
三、寄附金　一〇〇圓
四、繰越金　一二、〇〇〇圓
五、雜收入　三九五圓

△支出の部

一、銀五萬七千三十五圓

內譯
一、事務費　七、七四八圓
二、賑恤費　一一、〇二二圓
三、病院費　二三、七七五圓
四、財産費　一五、三三四圓
五、豫備費　一九一圓

さて宏濟善堂が前記の樣な經費で如何に實際の仕事を爲し來つて居るかといふに、それは大正十年の事績と其の翌年なる十一年上半期の事績に依つて略その大要を察知することが出來る。

大正十年事業成績（救濟事業）

恤寡人員	九七三人	撫孤人員	四六五人
育嬰人員	一二人	養老人員	一二〇人
施棺人員	五二八人	義葬人員	一、一五〇人
濟困人員	一、二二九人	合計	四、四七七人

大正十一年上半期事業成績（同）

恤寡人員	四七五人	撫孤人員	二四七人
育嬰人員	六八人	養老人員	六一人
施棺人員	二六三人	義葬人員	六六四人
濟困人員	五三三八人	合計	二、二四九人

次に尙記逃せねばならぬのは其の附屬病院の施療救治事業の成績である。是は全然施療に依つたもので、附屬病院が貧困者、敗殘者の爲め、如何に努力し居るかの事實は一見瞭然たるものがある。

大正十年の施療實績

一　男患者數　一〇、八二三人
　前年よりの患者數　一二〇人
　新患者數　一〇、七〇三人
　內｛全治　一〇、六〇二人　死亡　八九人
　　｛退院其他　二一人　翌年へ越　一一〇人

二　女患者數　九一〇人
　內｛全治　八九五人　死亡　四人
　　｛退院其他　一人　翌年へ越　一二人

合計　取扱患者數　一一、七三三人

大正十一年上半期施療實績

一　男患者數　五、五九〇人
　前年よりの患者數　一一〇人
　新患者數　五、四八〇人
　內｛全治　五、三七〇人　死亡　三八
　　｛下半期へ越　一八一人

二　女患者數　三三三人
　前年よりの患者數　一二人
　新患者數　三二一人
　內｛全治　三一三人　死亡　一人
　　｛下半期へ越　一九人

宏濟善堂が現在爲して居る事業の大要は以上にて知悉する事が出來る。卽ち其の恤寡又は撫孤と稱するは、鰥寡、孤獨賴るなきものに對する救濟事業で又その育嬰といふは老幼の扶養保助に外ならぬ。若し夫れ死亡埋葬の資力なきは施棺し、併せて共同墓地に義葬するので、こゝに卽ち義葬の一項が存するのである。蓋し冬期嚴寒の候に於て、衣食の資なき無宿漂浪の徒多く、悲慘なる多數の行路凍死者を出すのは、滿洲において屢々目睹耳聞する所であるが、宏濟善堂は卽ち此等の漂浪者を救助し彼等に衣食を給し、資金なきものは旅費を給して故國に送還し、凍死其他の死亡者は其の附屬墓地に埋葬して以て其靈を祀るのである。

最後に一言を附加して世人に告げたい一事は、宏濟善堂の施設を尙ほ一層擴張して、益々其の社會的施設の使命を遂行すべき事である。然るに此の使命を遂行するには、現在の宏濟善堂では其の規模が尙ほ充分でなく、又固より完備せるものでもない。然るに其の規模を充實し、其の施設を完備し、支那人に對する唯一の救濟機關たる宏濟善堂の使命を遂行せしむる爲めには、基本財產並に經濟資金の充實が

第一である。支那人有志識者は勿論、關東廳當局者竝に邦人有志に在りても、之が充實完成に對して相當努力すべきであらうと思ふ。（大城）

新たに設立された滿洲保育院

貧孤兒救濟を主とする一種の社會事業

大連市外沙河口第八區三十二號地に滿洲保育院が本年三月中設立された。設立者は滿洲日日新聞の記者であつた伊藤安宅氏で、氏は本年二月頃保育院の設立を思ひ立ち、種々計畫の上、設立意見を齎らして各方面有志の賛同を求めたところ、或有志は熱心に之を賛助し、或有志は之を拒否したが、氏は遂に自ら奮ふて保育院を設立するに至つたのである。今保育院の規程を掲ぐると次の通りである。

滿洲保育院規程

第一條　本院を滿洲保育院と稱す

第二條　本院は滿洲各地に於ける不遇兒童の救濟及び敎化を目的とし併せて收容兒童に關係ある婦人の保護に勉む。

第三條　本院に於ける經營及び兒童の敎化は基督敎の敎示に基くものとす。

第四條　本院の經費は一般篤志者の寄附及び出版物等の收益に依る。

第五條　本院に理事一名を置く理事は無報酬にて本院の經營の衝に當り並びに收容兒童の指導敎化に努むるものとす。

第六條　本院會計は帳簿に依りて收支を明らかにし毎年一回之れを賛助員に報告することを要す諸帳簿は理事立會のうへにて監督權ある官吏の隨時に檢閲することを得。

第七條　本院事業を翼賛する爲め毎月一定の寄附行爲を爲すものを賛助員とす賛助員は本院の經營につき監督權を有す。

第八條　本院は毎年春秋二期に一般篤志者より寄附金を募集し以て經營費に充當す募集期間は其の都度理事之を決定す。

而して伊藤氏は該保育院事業に關し次の樣な貧孤兒救濟に就ての主意書を公表した。

滿洲の貧孤兒救濟

運動を援助せられよ

▲不安に慄ゆる同胞　母國を遠く離れて滿洲に在る日本の同胞は今や二十萬人といふ多數でありますが之等のわが同胞が全く安心の狀態にあるかと申しますと、決してさうではありません。中には其の日の生活に窮してゐるもの、杖とも柱とも恃む夫を喪つて途方に暮れてゐる纖弱い婦人、妻に死なれ多勢の子供を抱いて一家族が路頭に迷ふてゐる實に慘めな人々もあります。今幸福である人も明日の日に如何なる災害が降りかゝらぬとも限らない。親戚緣者の無い植民地ではその不安の度が一層深く身に覺ゆられるのは蓋し當然のことでありませう。

▲私共お互の共同責任　人が困るのには種々の理由があるでせう、或ひは放蕩であつたとか、大酒であつたとか、さうした例は非常に多いのでありますが然したとひさうした因果關係があるにもせよ其家族までも見殺しにすることが何うして出來るでありませうか。況して病氣其他不時の災害に遭遇して苦しんでゐる婦人や子供の悲慘な境遇を涙無しに冷やかに見ることは到底出來ません。斯うした薄倖な兒童や纖弱い婦人たちを救ふのは、之れこそ私共お互の社會的共同責任ではありますまいか。

▲此の運動を助けられよ　滿洲保育院は之等の不遇な子女を救濟すべく設けられました。目下收容してゐる子供は二名でありますが、直に救濟の必要あるものが五名あり、目下その方法を講じてゐるのであります。保育院經營の費用は大連及び沙河口の篤志の方々に依つて目下年額六百圓程醵出されてありますが、尙ほ不足を來しますために皆樣の御同情に訴へる次第であります。哀れな貧兒や孤兒のために何分の御援助を願ひ上げます。

本院は目下十歲の男子一名と五歲の女子一名と外に十八歲の男子一名を收容して其の敎化に努めて居る。本年は約十名程の收容を爲す計畫であるさうな貧孤兒若くば不過可憐なる兒女の收容保育以外、託兒保護にも任ずる筈で、伊藤氏夫妻はその嚴父慈母となり、總ては博愛主義の下に收容兒女の保育敎化に臨むといふて居る。同院の主旨目的に贊同して贊助員となつた篤志家は小島鉦太郎、袴田可坪、勝俣喜十郎、上中治、佐々木雄次郎、長濱丹治、長濱夕

か、小田誠、拓植清夫、其他諸氏約三十名許りである。吾等は此の滿洲保育院が健全なる發展を遂げんことを切望に堪へざるものである。

支那人行商と行商人組合

行商人組合もまた一種の社會事業である

大連市及び附近市街地には大小多數の日支商店があり、また所在各所に露店商人の少からぬのも世間周知の事實だが、此等商店や露店以外に於て特に我我の眼に映るのは雜多無數の行商人の群である。此等雜多の行商人の殆んど總ては支那人で、種類は吳服類行商人から日用雜貨行商人を含み、野菜賣や魚類商や其他凡らゆる小賣商人を含んで居る。多くの家庭は此等行商人の出入に依り坐ながらにして日用物資の供給を受くるの利便を享有して居る。數が多いので一層便利である。斯かる調法なことは日本の内地に在りて到底見られぬのである。

生活狀態の極めて低級な又極めて簡易な支那人が極めて些細な資金を運轉して行商を營む能力は日本人の企及し得べからざる所で、彼等支那人の特長と認むべきものである。併し此の調法な便利な機關は一面において物騷な危險な機關となつて居る。それは此等行商人の中に竊盜や空巢狙ひをする者があり又その行商人に扮して不正を働く竊盜や物取りの群が混つて居るからである。勿論行商人の總てが竊盜者の類といふのでないが、行商人に扮して各戶に出入し、間隙に乘じて惡事を仕遂ぐる徒輩の少からぬは、掩ふべからざる事實で、之より生ずる被害も決して尠くないのである。元來下層支那人には盜癖を有するもの多く、苦力の中にも、飯進上を叫ぶ乞食の小孩の中にも、此等の惡癖者があり、而して其の一部は行商人に扮して各戶に出入するのであるから其處に絕へず危險の伴ふは當然と言はねばならない是れ支那行商人の取締法が夙に一般に依て希望せられた所以であるが、自由勝手に行商を營むといふ狀態の支那人に對して、嚴重な取締を爲すのは警務當

局者の困難とせる所で、随つて窃盗、容巣狙ひ等の小事故續發し、市民の生活に便利な機關も一面は市民に不安を感ぜしめて居るのである。

大連伏見臺の關根忠篤氏は此等支那行商人取締の必要を感し、種々考究の後、支那行商人組合の組織を思ひ立ち、慥か大正九年であつたと思ふが、之を其筋に出願したところ、間もなく許可された。そこで同氏は獨力で行商人組合を組織し、支那人の全部を之れに網羅して組合員たらしめ、組合人名簿その他必要帳簿等を作成し、行商組合人の出入異動を明らかにするは勿論、組合行商人たるを明らかにすべき腕章を定めて之れを組合員に佩用せしむる事とし一般市民の不安除去に勉むる外、行商人の携帶せる衡器に就ても特に日本製の正確なるものを使用せしむる等、種々に骨を折つた。警務當局方面でも此の組合の成立に依り取締上並に治安上少からぬ利便を享受せるは掩ふ可からざる事實と認むる事が出來る關根氏の設立した支那人行商人組合は、斯かる意味と事實に於て、行商人の狀態を改善せるのみに止まらず、一箇の社會事業として相當に貢獻しつゝあるのである。關根氏は該組合の組織成立に就いて他力の援助を求めず、獨力に當り、苦心慘憺して終始懸命に熱心に努力を拂つて居るのである。

大連市のみにありても支那人行商の數は幾千人を算して居る。之れに沙河口方面及び附近地方を合せたなら、其數の多きに上るは推知に難からざる所で之を打つて一團なし以て行商人組合を組織するは固より容易の業でない。關根氏の努力は此の意味に於ても多とせねばならぬ。言ふ迄もないが、支那行商組合の完備を期し、一令の下に行商人を統率し、規律ある行動を爲さしむる事は、極めて困難な仕事で特に夫れが紀律なき支那人であるから、其處に層一層の困難が伴ふのは當然である。我々は現在において關根氏の經營せる支那人行商組合を滿足のものと認むる者ではないが、斯かる機關の極めて必要なるを認め、又その困難の事業たるを察し、今後一層の努力と精勵を希望するのである。



個人生活、家庭生活、社會生活

女子高等師範學校教授　倉橋惣三

我々の生活は大體個人生活と家庭生活と社會生活と此の三つに別けて考へることが出來るかと思ふ此頃は個人生活に就いて非常に深い興味を有つて居る人と其の反對に個人的生活に關して興味を有つて居ない人とがある樣だ。現代人の傾向が其の何れであると云ふことはハッキリ云ふことを出來ないが兩方共に其の色彩が濃厚になつて來て居るのは事實だ。現代は個人生活に對する興味が昔より減つて來て居るので、自分ながら自身の生活に對して新鮮潑溂なる興味と云ふものは少しもなく、謂ゆる生活上の倦怠狀態に陷つて居るものが多い、卽ち日が出るから起きる朝飯が出るから食べる、習慣の樣に家を出て、習慣的に仕事にたづさはつて居るものが多い。

中には之を文學の形式を以て人に訴へるやうに說いて居る人もある。また全然興味がないのでないが興味がないやうに云ふのが現代的であるといふ風に取扱つて居る人もある。兎に角さう云ふ傾向が見ゐる。中には之を倫理的に考へ哲學的に理窟を築き上げて之を發表する人もある。見方に依つては我國では昔から個人生活に對する熱が足らなく、頗る生温い興味を有つてゐるものであるとも言へる個人生活の色彩の濃いものは強いものとして、周圍で之を壓迫する傾向があつたので、夫等の事情から自分の生活と云ふものに對する興味は殆どなく、有つてもそれは隱して居ると云ふやうな弊もあつた。處が近來は文學又は哲學に依つて大ビラに云ふやうになり從つて其の多くの事實も現れて來るやうになつたものと思ふ。

家庭生活に就いて考へて見ると現代的傾向として明かに認められるのは、家庭生活に對する興味が著しく減つて來た事である。それには理由もあり、一面から言へば經濟的の事情も昔のやうに悠長な生活の出來なくなつた一因であるまた現代的思想の傾向が益々個人主義になつて來て昔のやうに習慣的盲目的の興味ある家庭生活をすると云ふ事が減つて來て居る。それは家庭生活の中心となるところの婦人の活動範圍が廣くなつたのに連れて婦人の家庭に對する考への變つて來たのも一原因であらう原因は何れにあるとしても、今日の人は昔の人に較べると家庭といふものを餘り樂まなくなつた、もつと切實に言へは、樂みたいけれども樂めなくなつたと云ふ有樣で總じて家庭生活に對する興味が減じて來て居ると言ひ得る。

近頃新聞などを見ると、家庭を脫して家出する人なども大分有るやうだが、之も家庭生活に對する興味が減つた爲めであらうと思ふ又之を他の方面から見ると、亞米利加あたりの學者は、人間の生活と云ふものは人類の進歩と共に生活の單位を擴張する、從つて昔の樣に家庭と云ふやうな小さな生活單位に執着せず、その壁を破り垣根を越して門を出て、もつと擴がつた社會生活と云ふものに入込む殊に現代社會の特色として、あらゆる便利幸福が社會的活動に依つて獲得することが出來るので、家庭と云ふものに閉籠つて居るのは平凡であり現代的でないと考へる樣になつたと云つて居る。學者の中には人生の眞理を語る人もあり又人生の事實を後から說明して行く人もあるから、學者の云ふことが總て眞理であるとは云へないが亞米利加の學者が考へて居ることは一面無理ならぬことであると思ふ。事實亞米利加人は家庭生活に對する執着心が我々より少い。近來我國に於ても、以上の如き傾向に向ひ、必ずしも家庭に居らなくとも淋しくない、家庭に依らずとも平凡でない、凡ゆる享樂を得るが爲めには社會に出でねばならぬ之れが昔に較べて進歩した生活形式であると考へるものが多くなつて來て居る。かうして家庭生活や個人生活に對して興味を有たないのは、如何なる意義を有するものであるか。これは私の觸れようとする目的ではないが、併し斯かる傾向は人間の自然性を離れて行くものではないかと思ふ。中には自由を叫んで家庭を飛び出して行く人

人もあるけれども夫等は一片の理窟では解けぬのである。

元來社會生活は家庭生活と餘程違つた性質を有して居るものである。個人生活及び家庭生活は人間の自然性として自らを愛すると云ふことが基礎となり、其處に興味もあり執着も生じて來るのであるが、社會生活に至つてはそれ程の興味もなく、唯吾人が生活するに便利であると云ふに過ぎない。又社會生活は或る點から云へば止むを得ずとして居ると思はれる場合が少くない。家庭生活は人生自然の要求から起つて居るのであるけれども、社會生活はさうではなく或種の便利々益を得る爲めのものだとも見られるのである。

私は毎日郊外電車に乘つて學校に通つて居るが、電車は私共に取つて非常に便利なものであるけれども、其の中に於ては何等愉快を感じない。家庭と學校との間に於て不愉快な思ひをしなければならない。又東京の町を歩いて居ても私共に特に私の町だと云ふやうな感じが起らず、又別に社會的にどれだけの興味を受けるか疑問である。私共は多くの近隣の人を有して居るが、私共は近隣の人々の爲めにどれだけの興味を得て居るのであらうか。我々は隣人がなくても何の差支なく、又彼等とて私共がなくても何事差支ない人であるかも知れない。斯ういふ風に考へて來ると、私は社會生活に依つてはさしたる興味を與へられて居らず、多くの場合には寧ろ不愉快な感のみを與へられて居る。便利の爲め利益を得る爲め唯止むを得ずに社會生活をして居るのだと云ふやうにも考へられる。私共は松青く水清き風光の良い土地に憧がれて行く事があつても社會生活と云ふものからは何等の興味も與へられずに暮して居る。之れが變則でもなく、例外でもなく、また敢て不幸でもなく、人生當然のものであるかどうか。それに就いて私共は靜かに心を落付けて大いに考へざるを得ないのである。

世には所謂寄合世帶と云ふものがある。これは單に寄合つて居るのみで、何等精神的結合もなく親しみもなく、興味もなく暮して居るものであるから、人生の最も不幸な生活である。我々の社會生活はそれ以上に角突合ひをして生きて居る。人間は或意味において自我主義のものであるから、餘程訓練を經たものでも、倘爭ひ戰ひぶツつかり合ふを免れない。之等を全部無くしてしまふのは、勿論難

かしい事であらうけれども、何等親しみもなく、交渉もなく、唯寄り合つたと云ふのみで生活して居ることは、果して自然的合理的なことであらうか。これが私共の問題とする處である。個人生活の厭になつたものは酒でも飲んで慰め家庭生活が厭になつたものは家を飛び出してしまひ、そして別に生くべき道を求めることも出來るが社會生活の厭になつたものは何うしようもない。昔の人のやうに簡單に遁世することも出來ぬから生きて行く爲にはヤハリ社會生活の中に居らなくてはならぬ。

人間の生活に對しては哲學的にも倫理學的にも又進化學的にも種種に考へられもし研究されもし又說明もされるのであらうが、以上は私の思ひついたことを述べたもので、結論に達するには尙多くを述べなければならぬから玆には結論を附けずに置く。何事も社會的となりつゝある今日、人間生活も個人的より家庭的、家庭的より社會的へと進むが進化の順序であるかも知れないが、繰返して述べた通り、社會生活は便利とか利益とかを目的とするものであつて、何等の情味もなく、趣味もなく、却つて人心を惡化し劣化する場合が多い。社會生活がさうなるのは個人生活、家庭生活の猶ほ全く善化されない爲めでもあらうとは思ふけれども、兎に角世人の須らく注意すべきことゝ考へられる。

難かしい性教育

學校に任せるか母親が施すか

文部省學校衛生課員　吉田章信

性の教育をやることの可否はもう問題ではありません。當課でも課長の北醫學博士が萬國衛生教育會議に出席して性病豫防の問題や斯うした方面の實際に觸れて歸る筈だから、將來は多少具體的の事にも及んで來るでせうが、今日では調査中だと申すの外ありません最近の女學校長會議で府立第一の市川源三氏と私とが性教育の問題の委員に擧られてゐますが、問題が問題だけに斯うと一筋に論ずることは出來ません。唯こゝに問題になるのは性教育を母親が進んで

やる可きか學校の教師がやる可きかと云ふことですが之れも今のところ何ともお話は出來ません。又如何なる話を如何なる年齢の時にやればいゝかと云ふと、どうしても兒童の身體と精神の發達を教育的に理解したものでなければならぬから、日本の今日の家庭婦人よりは知識や方法の點に於て教師の方が適當でせう。然し外國の性教育の問題に就ての報告に依ると教師よりは母親の方が適してゐると云ふ事に意見が一致してゐるやうです。彼の地では母親が先づ身を清め祈りつゝ性の尊いこと卑しむ可きでないことと人類が生物として與へられた種族を生む嚴肅な事實たることを息子や娘に教へ込むらしい。この機會を捉へることは我が子の發育をよく知る母親によつて始めてなさるゝ事です。

母性を經驗した婦人にとつては性の事も妊娠も分娩も悉く尊い事と感じられてゐますから、此點から言へば、最も婦人が適當だと云ふことも云へませうが、日本婦人で之を能くする者がどの位あるか私には判りません。私個人としても年頃の娘や子息があるので、之を何うしたらば良いかと云ふ事に就ては常に考へて居りますが、まだ進んで何もして居りません。唯私が信じて勸めたいことは若い青年男女の性の問題の起ることを遲らすため、或は左程苦悶なしで通させる爲めの運動を奬勵したい事です。日本でも實驗者はそれを明かに口にしてゐるのですが、外國の統計事實に依つても運動をする女子は青春期に入る時期が非常に遲れて可なり大きくなるまで無邪氣でゐられるやうです。これは姑息のやうですが一つの方法として奬勵したい事です。そして常識が發達して仕舞うてから性教育をする事はその弊害を少くするといふ點にも効果があります。

娯樂にも役立つ無線電話

浪花節でも何でも聽ける

日本での無線電話は漸く福岡釜山の通話を見やうとする位であるが、近來世界を通じての無線電話の發達は著しく、殊に米國では此種の實用無電は最早隈なく出來上つて、現在ではブロード、キャスチングとして音樂送電に用ひられ娯樂用として大流行を極めてゐる

最近着の通信によると、全米國を通じて此等娯樂用の無電放送所も出來て居ると云ふが、此音樂の無電放送は今から三年前の千九百二十年にピッツグラグ市に試みたのが始めてゞ、例へば大連の某所で大音樂家を招聘して演奏させ之を無電によつて放送すると、無電を受くべき受話器を備へてさへ置けば、其の装置のある如何なる土地でも、同時に居ながらにして其の音樂を聽くことが出來る。

さうして、其の受話器の値段も二三里から五里位の遠さで聽ける普通のが米貨十八弗から二十五弗だと云ふから、日本の四五十圓しかしない譯である。極めて上等の品で七八百圓位であるから、忽ち全米國各市に普及し、紐育などでは澤山の放送會社が出來て、互に時間を協定して各種の音樂を放送し、家庭に備ね付て居る受話器の數も今は何十萬の巨數に達して居ると云ふ。日本でも今日は蓄音器を備へて居る家庭が多いから、之を持つて來たら屹度流行するであらうと云ふので、日本無線電話器製造會社を始め高田商會など右の放送計畫に就て曩に九大工學部森兵吾敎授に調査を依賴して居たが此計畫に對してはまだ殆ど何等の規則もないので何うする事も出來ず、主務省に迫つた結果、愈々近く其の規則が出ると共に、日本の無線電話器製作の四會社が合同して放送會社を作ることになつたと果して然らば我國でも遠からず各家庭に居て浪花節は云ふ迄もなく内外各國の大音樂家の聲樂を無線電話で家庭に居ながら聽くことが流行するやうになるであらう。右に就いて森博士は語る。

先般或向からブロード、キャスチング經營上の事を聞かれたので一通り調べて答へたが、他人の食べて居るのを見て急に其食物が欲しくなつた子供のやうに、米國でやつて居るのを見て來て俄かに欲しくなつたのではない乎、國民の眞の要求に應じたものとなるかどうかと云つて笑つた事である。然し無線電話の電報は甲の者と乙の者とか混じて來ると互に妨げられるから、二個處の放送を同時にする事は出來ぬ。それに此種の放送は各家庭とも夕食後に聽きたいとか何とか時間に大がい極まりがあるから、放送會社を作るとすれば先に作つた者が最もよい時間を利用し得る譯であつて、先願のものが有利になつて來るが蓄音器で滿足が出來ないとすれば盖し良い家庭の娯樂かも知れぬ。

戸外生活と戸外睡眠

米國で盛んに行はれて居る

近年米國の健康增進學會などで戸外生活と戸外睡眠の奬勵をしてゐる。戸外生活は屋内よりも戸外の新鮮な空氣に依て健康を增進しようとするもので、例へば朝夕戸外に出でゝ遊戯するとか、畑或は花壇の手入れをするとか、散歩又は呼吸運動をするとか、休暇を利用して山岳旅行や天幕生活をすることで、之れは有觸れた珍らしい事でもないが、都會などに住んで戸外の働きの少いものは少しの機會をも斯る方面に利用して身心の健康を計ることが大切だと云ふのである。戸外生活と伴つて戸外睡眠と云ふことも又主張されてゐる之れは戸外の空氣中に眠ることで米國で行はれてゐる方法は、戸外の寢廊下と云つて、上部に蔽ひがあるばかりの廊下を寢室としたり上ばかりある開放天幕や、或は窓天幕と云つて窓にとりつけ、半ば屋内に半ば戸外に睡眠するやうな仕掛をしたものゝ中で寢るのである。此の戸外睡眠は最初は風土氣候の極くよい地方で行はれたのであつたが、最近二十餘年間に急足に進んで大抵の所で年中行はれるやうになつて居るさうだ。

米國の或る製靴會社の職工で結核に罹つたものに戸外睡眠を命じて見たところ、其の結果は數ケ月でその病氣が治癒したと云ふことである。戸外睡眠は結核病に效果があるばかりでなく、病氣に抵抗する力を增し、體力と忍耐力と勞働力をも大いに增進させる效能があることを漸次認められ、嬰兒にも小兒にも行れるやうになつて來たと云ふことだ。如何なる裝置をして換氣をよくしても戸外の空氣には到底及ぶものでない。屋内では絶えず人の呼吸作用に依て炭酸瓦斯が出來るし、火鉢、煖爐、煙草等から有毒瓦斯が發生されるし塵埃等からも瓦斯が出るから、どんなに換氣に氣をつけても戸外の空氣のやうに新鮮を保つことは出來ぬ。そこで成るべく戸外に出でて新鮮なる空氣に觸れる機會を多く作れと云ふのが戸外生活並びに戸外睡眠の主張である。



柳緑花紅

◆厨川白村の『近代の戀愛觀』が青年男女に愛讀されたと云ふので今度また井上勇の譯でスタンダアルの『戀愛論』が出版された◆何れも是れもエレン・カイの議論の燒直しの樣なもので極めて詩的に放膽的に戀愛の自由と結婚の革命を說いたものだ◆食氣と色氣と昔から言つた通り人間も其他の生物も食慾と性慾の二ツで生きて居る◆食慾は個性保存のため性慾は種の保存乃至繁殖のための本能的作用で性慾即ち生殖慾となり生殖慾即ち戀愛となるのだ◆性慾を離れた戀愛なく戀愛を離れた性慾なく性慾は肉的、戀愛は靈的、性慾は土で戀愛はそれに培はれて咲き出でた一本の花卉のやうなものだ◆花が咲き鳥が唄ふのも性慾の作用だ人間は性慾則戀愛を美化して詩となし劇となした◆既に美化されたものは美しいに違ひない誰か花の姿を眺め鳥の聲を聞いてしかめ面をなすものあらんや◆玆に於てか人間は人間自身の戀愛を美化した詩に憧がれ劇に唆られ更に戀愛その物に陶醉する之を循環作用とも若くば反射作用とも稱へる◆此處が好い處で同時に危ない處だ殊に青春の情熱に燃ゐた若い男女に取つて危ない處だ◆ラブ・イズ・ベスト即ち戀愛を至上視するは戀愛が總ての愛の根源であるからだが之を狹く小さく視ると誤まる◆戀愛は之を聖化し淨化し更に擴大せねばならぬ戀愛は水源地の水の如きものだ濾過池に入れて十分に聖淨化せねばならぬ◆聖淨化されない戀愛は戀愛にして戀愛にあらず夫れは性慾だ獸慾だ不淨物を多量に含んだ本能的盲動作用だ◆戀愛の淨化されたものが詩である人情美である之を擴大すれば兼愛となり博愛となり人道となり熱烈なる信仰ともなる◆然るに青年男女の多くは性慾則戀愛にのみ突貫し馬車馬のやうに唯一直線に猪進するので間違ひを仕出かすのだ◆戀愛は赤熱化し易い其の赤熱化時代が一番危ない心中はその最後だ併しそれは戀愛の極致でない心中を謳歌してはならぬ◆戀愛は之を白熱化し

て始めて極致に達する此時の戀愛は花の時代を過ぎて果の時代に入りそして內在的となる◆戀愛の極致は一夫一婦に依つて達せられる子供は戀愛の果實で爰に全く戀愛は神聖化される◆戀愛を神聖化する迄には時間と努力を要する一足飛びに何の苦もなく出來るものではない克己、自制、凡ゆる修練を要する◆赤熱化時代の花ばかりで果のない戀愛を至上の神聖のと云ふは此上もない間違ひだ◆某科學者曰く『生殖は目的で戀愛は方便だ若し目的たる生殖育兒を蔑視し方便たる戀愛のみを讃美せば遂に人類を過らん』と◆併し生殖が目的だからと云つて性慾のみを尊べば多くの色魔を輩出し人類界は野獸界となる◆故に性慾を美化した戀愛を尊ぶのは惡い事じやない戀愛は花の如く又鳥の鳴くが如し人間は科學ばかりで生きぬ詩もまた必要だ◆一方の食慾卽ち食氣も唯食物を口から胃の腑に投り込むだけでは滿足されない味ふと云ふことが寧ろヨリ以上大切だ◆既に味ふの必要あらば食物を美化せねばならぬ是れ料理の起つた原だ料理も一種の藝術だ◆戀愛論が盛んになつた他の一面の理由は結婚が餘りに形式化し虛禮化しブルジョア化し道具倒れとなつた爲だ◆卽ち戀愛の自由と共に結婚革命論の起つた所以だ結婚革命は戀愛の自由の下に今日の贈與結婚の弊を矯め樣と云ふのだ◆之を矯めて結婚の式を簡易にし通俗にし民衆的乃至社會的に仕樣といふのだ◆それは好い事だが戀愛の自由には注意を要する自由は節制と相俟つコントロールされない戀愛の自由は頗る危險である◆青春の情火に燃えた隨つて性慾の最も烈しく衝動する若い男女が此點に意を用ひないで戀愛の自由に突進すれば自他共に必ず相傷つく事になる◆要するに今日は人類社會の革新時代だ食慾卽ち食氣の方は勞働運動や種々の社會運動となり性慾卽ち色氣の方は戀愛自由論や結婚革命論となつて現はれる◆寔に騷々しい事だが騷々しいのが世の中の常だ斯うした過渡時代には若い男女が兎角誤り易い呉々も氣を附けて欲しい。

新らしい倶樂部

四月三日の夜大連ヤマトホテル階上應接室において各方面の大連には珍らしい顔觸れが集まつて倶樂部新設協議會を開いた▲その倶樂部設立趣意書に曰く「ワス、メンシュ、イスト、ダス、エル、イッスト（何んな人間かと云ふことは食物できまるのだ）なる獨逸の諺は職業生活が人間生活の全分野を殆んど蔽ひつくして居るといふ意味において今日の文明生活を遺憾なく諷し得たるものと申さればなりません▲現代社會生活の禍根は實に人間がその生活の本城を職業に奪はれて自ら完全に職業の奴隷たらしめて居る所にあります部分が全體を支配して居る所にあります▲卽ち複雜な分業的社會構成に於ては各人の分擔する職業生活は彼の全局的人格活動の象徵を意味することが出來ず從つて今日の職業生活は寧ろ本來の人間生活に對しては一の手段――それが如何に根底ではあつても――たるに過ぎないものになつて居ます▲而も吾人文明人が職業の奴隷なる結果は吾人は物の見方に於て考へ方に於て感じ方に於てまた評價の仕方に於て悉く各自の職業的生活の制約を得けざるを得ず從つてその思考、意欲、情感、價値批判が偏頗不自然たるを免れ得ないことになるのである▲吾人が豐富で自由で健全な本來の人間生活を恢復せんが爲めには一方に於ては職業の人格が必要であると共に他方に於ては吾人は飽迄も職業生活が人間生活の部分に過ぎざることを自覺し人間性を職業的挃括より解放する事を忘れてはならぬと思ひます▲此れ吾人が在滿人社會各分野の自由人を聯れ職業と階級と社會的地位とを離れて完全なる人間的立場に於ての結合を企て茲に倶樂部を設立せんとする以所である▲吾人は全人間的立場に立つが故に吾人の關心は必然に人格的であり社會的であり又世界的であり得る吾人は吾人の周圍に生起し來る一切の問題を人格觀的、社會觀的、國際觀的視野の下に於て自由に觀察し批判し所理する此の場合に於ける部員各自の職業的經緯の相違と專門的智能の多樣とは決して意見の一致を傷けるものとはならずして却つて其處に醸成せらるべき輿論の健全を保持するものとなり得る▲何となれば吾人の職業的技能乃至智識の相違は部分的であり吾人の人間性の一致は全體的であるからである▲又一面に於ては其間各人はその專門的技能を相互に分與し合ふことに依つて各自の經驗を十全に近け得ることの利益をも伴ひ得る▲斯くの如くにして倶樂部の存在は直ちに一個の健全なる市民的、社會的、國際的輿論を意味しその指導を意味するものとなり得ることを信じ又吾人は其の府かあらんことを切に欲求するものであります」と▲そこで此の倶樂部內規草案は全文十箇條より成る簡約なもので其の第三條に「本倶樂部は純潔高雅なる社交を中心として部員相互の親和と趣味並に智識の向上を圖り併せて我が滿洲人市民生活に關與する諸般の問題に對し人道的社會的批判を與へ輕佻皮相なる所謂政治運動を離れ健全なる市民的輿論の作興並びに指導に任じ以て當か我が滿洲人社會生活の充實發展に貢獻せんことを期す」とある▲吾等の識に唱へたロータリー倶樂部に似たものらしいが倶樂部名はまだ決定しない假に市民倶樂部と名づけたが市民倶樂部なるものは現に在るので罷める事にした▲協議會で倶樂部の命名を無記名投票に問ふたら樣々の名稱が出て何れを採用していゝか見當が付かなかつたので委員に於て追つて命名する事になつた▲コスモポリタン倶樂部といふのが有つたが此の倶樂部は之を擴張した意味にもなるらしい何にしても淸い新らしいそして全人的、社會的、國際的倶樂部の必要は大いに之あるわけである。



童話

山の平太郎

水守龜之助

（一）

こゝは北國の山中で、雪は冬中ずつと積つて居り、いつも〱どんよりと曇つてゐると云ふ寒いところでした。その山の麓の溪川にのぞんだところにひしやげたやうな一軒家がありました。眞冬のうちは、山から來る水も、水車のところで氷りがちなので、仕事を休んでゐることが多いのでした。家族と云つては白髮爺さんと婆さんとで それは〱さびしい暮しをして居りました。

その家へ、いつの頃からともなく一人の少年が一緒に住むやうになりました。その邊の人達の噂によるとその老夫婦には一人の娘があつたが、もう二十年も前に、山へ枯葉や枯枝を拾ひに行つたまゝ行方が知れなくなつて了つた。屹度、それは旅の男か何かにたぶらかされてどこかへ行つて了つたので、今居る少年はつまり老人達の孫に當る子供だと云ふのでありました。しかし、その少年がこれ迄どこにゐてどうして歸つて來たのかと云ふやうなことは誰も知りませんでした。

若し村の人が爺さんに少年のことを訊くやうなことがあると

『おりや、どこからか天狗に攫はれて來て、山の中にゐたのを連れて來たのだよ。』と、無雜作に答へてそし

て大きな口を開いてカラ〳〵と笑ふのが常でした。それも爺さんばかりでなく婆さんまでが同じやうなことを云ふのでした。いやそれのみでなく本人の少年までが
『おいら天狗に攫はれて來たんだよ。』と、平氣で云つてすましてゐると云ふ風なので、その邊ではこの少年が「謎の子供」となつてゐるわけでした。

その少年は今年九歳と云ふことでした。今から四五年前にやつて來たのですから、その時は五つか六つかだつたことは、指を指つて見るまでもありません。本當の名を何と云ふのか、それも爺さんの云ふことが眞實だとすると、本人より外に知るものはないわけですが、今の平太郎と云ふ名は矢張り爺さんがつけたと云ふだけは間違ひのないことでした。

もとより貧しく、漸くその日を凌いでゆくやうな家でしたから、平太郎は學校へ通ふことも出來ず、美しい衣服を身につけることも出來ず、毎日、冬は山へ行つて枯枝を拾つたり、夏は川へ行つてやまめを捕つたりする位のもので、太して家の仕事のお手傳ひもしないでゐるのでした。それでも老人達は少しも口叱言などは云はず、まるで、野放し同樣で仕放題に任かせてゐるのでした。さうした有樣ですから、平太郎はまことに氣樂で自由な身の上でしたが、唯一ッ恐ろしいことは、一軒家でずつと離れてゐるからでもありましたが、村の子供が遊び仲間に入れてくれない事でした。夏の盆踊り、秋の鎭守祭の時でも、この少年の平太郎は爺さんにつれられて出かけるには出かけても、唯、一人ぽつねんと離れて、嬉さうに遊んでゐる子供の群を單に眺めてゐるより外はありませんでした。

『もつと元氣を出して遊べよ。』と、時には爺さんも見かねて、勵ますやうに云ひました。が、平太郎は指を喰へて、『ううん！おいらいやだア』と、頭を横に掉るのでした。

こんな風ですから、平太郎は人群れのする場所へは行かないで、山へ入つたり、または川へ行つたりしてひとりで寂しく遊ぶより外はありませんでした。

ある日のことであります。丁度、秋の初めのことで、爺さんが栗を拾つたり茸を探したりしやうと思つて、可なり深い山の奥へ行きますと、ふと、獸の啼くやうな聲を聞きつけました。長年山に住んでゐるおかげて、爺さんは狐でも、狸でも、猿でも、鹿でも、山鳥でも、雉子でも、いろんな鳥獸の啼き聲をよく知つてゐて、聞きわけることが出來ましたが、今聞いた聲だけは分らないのでした。

『變な奴がゐるな、あれは屹度狸か何かがおれをだまくらかさうとして、わざと變な聲を出しやがつたのだな、一つとつちめてくれやう、このお馴染のおれをだまさうなんて、不埒至極な奴だ！』。爺さんは呟くと、ちよつと微笑しました。そして、ずんずん雜木をわけ、雜草を踏みくだきながら進んで行きますと、やがて變な聲は自分の頭の上で聞ゐるやうになりました。爺さんは思はずびつくりして、深くさし交した枝葉の間を透かし見ると、何やら黑いものが樹の枝にうづくまつて居るのを發見しました。

度胸の据はつてゐる山の中でなら怖いもののない爺さんのことですから、びつくりしたのは兎に角、格別恐ろしいやうな氣は起りませんでしたが、突嗟の間に『あ、こんなことなら、あの種ヶ島の鐡砲をもつて來て、うちとめてくれればよかつたのに……。』と思つて、大變に殘念に思ひました。が、何しろ、また出會したことのない怪物だと思ふだけに、早く正體を見定めたいと云ふ考へから、ぬき足さし足で、その樹の根方に忍び寄り、ショボショボした眼でぢつと上の方を見ました。すると、これはまた何と云ふ意外な光景でしたらう？その黑いものと云ふのは正しく自分のさころの平太郎で、まるで、獸のやうに自由に高い樹の枝の上にのつかつて、一疋の猿と遊び戲れてゐるのでした。

さすがの山の人である爺さんも、『こいつはおれよりも上手だなあ。』と、思はず感嘆の聲を洩らさずにはゐられなくなりました。しかし、爺さんはある心遣ひから、すぐそこを離れました。と云ふのは、『平の奴、屹度いつもおれ達にかくれてあんなことをやつてゐるのに違ひない、それを今、おれに見られたとなると、きまり惡がつて逃げ出して了ふやうなことがないとも限らない、これから一つよく、ふだんの樣子から注意して置いて、よい折を見て訊いてやらう』と云ふ腹があるからでした。そして爺さんは、その夕方、平太郎が歸つた時も、婆さんと話をする時も、そのことに就ては噯にも出しませんでした。

（二）

やがて冬が來ました。雪は毎日のやうに降りつづけ、野山は見渡す限り眞白になつて、さすがの平太郎も深山へ遊びに行くことも、川へ出かけることも出來なくなつて了ひました。そこで毎日、爐傍で爺さんや婆さんと一緒に草鞋を造つたり、繩を綯ふたり、偶には天氣の都合で水車へやつて來る人があると、少しばかりそれを手傳つたりするばかりでした。

或る時、爺さんは『われや外へ出られねゑからつまらんだらうのう？』と訊きました。

『そんでもねゑよ。』平太郎はわざとらしく云ひました。

『うそをつけ！われには好ゑ遊び友達があるのやらう、それに會へんでつまらないことはないなんてどうして云へるのかね？かくしたつて駄目だよ。』

『友達？』と、平太郎は意外さうな顔をして、『おいら友達なんて一人も無ゑよ、そんなものはほしくねゑや』と、空嘯くやうにして云ひました。

『友達つて云つても人間の友達たあ違ふだよ、何か外に面白い友達が出來てゐるや無ゑか』。爺さんはいう云つて、ちよつと探るやうな眼で平太郎を見てカラ〳〵と笑ひました。

『人間で無ゑ？』。今度はさすがの平太郎もギクリとしたらしく、繩をいぢつてゐた手をとめて、疑惑に充ちたやうなおかしな眼つきをしました。

『もう好ゑよ、話したくなけりや、無理に訊かうとは云はゑよ、だがな、人間は人間の仲間にならにやいかんな、おれたちのやうになつて了ふちやもうどうにもなんねゑが、われやアまだ子供だ、これから大きくなつて、ちつたあ、ゑらい人間にならねゑと、お前を産んでくれた兩親にすまねゑぢやないか』と、爺さんは太い煙管をカン〳〵爐の椽で叩きながら、優しく說きかすやうに云ひました。

『おいらを産んでくれた兩親なんてものがあるのかゑ？おいら天狗に攫はれて來た子だと、爺ちやんも婆ちやんも云つたぢや無ゑか』と、平太郎はたてつくやうに詰りました。

この時、奥の眞暗なまるで夜のやうな部屋からのそ〳〵と出て來た婆さんが

『平太郎！われの云ふことは一應は尤もぢやが、よく考へると間違ふとるぜ、天狗に攫はれて來たのは本當やけど、その以前はどうしてゐたと思ふのかゑ？どこかの人の家にゐたのやらう、それぢやで、われがも犬畜生の子ぢや無ゑ、矢張り人間の産んだ子になるわけや無ゑか、さうして見ると、産んでくれた親と云ふものはどこかに居るわけやないか』と、懇ろにさう云ひました。

『ふうん！さうかなあ……』。平太郎は自分も人間の子だと云ふことになつて見ると、まるで、それが初めて分つたかのやうに、ぼんやりとした顏をして、今さらのやうに不思議さうに、爺さんや婆さんの顏を代る代る見比べてゐるのでした。そして『ふうん、おいらも人間だね』と、同じやうなことを繰返して、ぢつと

下を向いて、そして腕組をして考へ込んで了ひました。

爺さんと、婆さんは、それだけ云つて了ふと

『まあ、よく考へるが好い』とでも心の中で云つてゐるやうな顏をして默り込んで了ひました。

平太郎は、いくら自分がこの家へ來るやうになつたのかと考へて見ても、古い〳〵昔のことのやうな氣がして、何の記憶も浮んで來ませんでした。しかし、四年でも五年でも親のところにゐたのなら、何かそれに關した記憶があるに違ひないと、幾ら頭を絞るやうに考へて見ても、矢張り駄目でした。こうなると、自分は何かこれ迄のすべてのことを忘れて了ふやうな痲酔藥か何かを飮まされて、まだ、眠つてゐる間に、山の中へでも連れて來て捨てられたのかも知れないと考へるのでした。

そして、さつき爺さんが『われには人間でない友達が出來てゐるだらう』と、訊かれたことを思ひ出しました。それには屹度、自分が鳥に話しかけたり、猿と遊んだりする程、鳥や獸と慣れ〳〵しくなつてゐるのを知つてゐて云つたのに違ひない思ふと、何だかきまり惡くなつて來ました。なる程、人間の子が獸と友達になるなんてことは間違つたことかも知れん、とは平太郎にも氣付かないことはありませんでした。が、人間の子が自分の友達になつてくれないばかりか、却つて嫌つてゐるのに、鳥や獸の方が自分を愛して友達になつてくれるのを思ふと、矢張り鳥や獸の方が懷しくなつて來るのでした。

その時は、そのまま何にも云はずにすみましたが、自分にも生みの親があるのだと云ふ爺さん婆さんの一言が深く頭に彫み込まれてゐることが、後になればなる程、ハツキリと分つて來ました。

で、平太郎の心は二つのことに迷はねばならぬやうになりました。それは山の中へかくれて一生鳥や獸と暮らすことにきめるか、それとも、廣い世の中へ出て生みの親を尋ね探すかと云ふことでした。こんな考へ

から彼は其後ぼんやりと冥想に耽ることが度々あるやうになりました。

（三）

山にも冬が遠のいて行つて春が訪れて來るやうになりました。雪は次第に解けて流れ、その下から草の芽生ゐが青く頭を出すやうになり、曇つた空には雲が杜斷れて、その間から蒼い匂はしやかなハッキリとした空が覗くやうになりました。平太郎自身の心にも何だか分らないが暖かく脈打つ血の流れとそれから何かに憧れるやうな言ひ知れぬ思ひが張つて來るやうになりました。

彼は漸くにして去年の友達を山深く尋ねて行けるやうになつたことを感せずには居られませんでした。あ る日も、さうした希望を抱いて奥へ奥へと行きますと、梢に飛び交し囀り交すさまぐ\な鳥の聲までが、丁度春を迎へる歡びの歌でもうたつてゐるやうに聞ゐるのでした。自然の恵みは平太郎に迫りました。平太郎の心も躍りあがらずには居られませんでした。

猿さん、猿さん、
　　おいらの友達のお猿さん！
去年の場所を忘れたか、
　　餌でも探しに行つたのか、
雪に凍ゐて死んだのか、
　　獵師にうたれて死んだのか、
聾になつて聞ゐぬか、

盲になつて見ねねか、
どうして姿を見せぬだらう？
おゝい、おゝいお猿さん、
こんな大きな聲しても、
おいらはやつぱり人間で、
獸のお前に聞ねぬか、
畜生…小鳥が笑つてやがる！

平太郎は、つい小鳥の樂しさうな歌聲に浮かされてしまつて、こんな出鱈目なことを節つけて、さも面白さうに歌ひながら歩き廻つてゐるのでした。

しかし、平太郎自身も去年よく猿と會つてゐた場所を忘れたのか、それとも、猿の方で忘れたのか、いくら探しても、どうしても出會ふことが出來ませんでした。平太郎ががつかりしたのは云ふ迄もありませんでした。彼はもう悲しくなつて了つて殆んど生れて初めてのやうな悲哀を味つた位でした。そして、悄然と歸つて來ましたが、それからと云ふものは、爺さんや、婆さんの眼に映る彼は、まるで生れ變つたやうな少年になつて了ひました。これ迄のやうに亂暴なところもなくなり、心持も優しくなり、獸のやうに光つてゐた眼には如何にも穩かな和いだ光りが宿るやうになりました。其後も時々山の友達を慕つて出かけて行くことは止めなかつたが馴染のお友達に會ふことは出來ませんでした。

ところが、或る日のことでした、大變高い山へ登つて行きますと、遙か彼方に空のやうな併しもつと〳〵濃い藍色を湛ねたものが無限に廣く遠くひろがつてゐるのを見ました。

『海だ……』と平太郎は突然我れ知らず叫びを發しました。

彼は無論、これ迄に海と云ふものを見たことはありませんでした、が、繪で見たり、また、爺さんが若いとき旅ばかりしてゐたので、よく港の話なぞしたので、それらから得た智識を以て、あれはてつきりその海と云ふものに違ひないと直覺的に思つたのでした。

何と云ふ美しい、輝かしい、明るいところが、この世界にあるのだらうと思ふと、今からでも駈け出して行きたいやうな氣がするのを覺ねました。が、爺さんや婆さんのことを思ふと後ろに心か惹かれるのでしたこの山の暮しにも懷しい氣持が結びつけられてゐるのでした。

（四）

ある日のこと、平太郎は村の商ひ店へお使ひにやられた時、ふと、近頃この邊へ猿狩りに來た男があつて巧みに一疋の猿を捕へてつれて歸つたとのことを耳にしました。而もその猿は大變に悧巧で、よく人間に馴染んでゐるので、どこかの人の手に飼はれてゐたのがぬけ出して來たのではないか知ら、とも語つてゐたと云ふことでした。平太郎はその話を聽いてドキンと胸をうたれたやうに感じました。『その猿は屹度、おいらの仲好しのお猿さんに違ひない』と心に叫ぶと、

『おぢさん、その猿を捕つた人はどこへ行つたかい？』と訊きました。

するとその人は平太郎を馬鹿にしてゐるので、何とも云つてくれませんでしたが、いろ〳〵な點から考へ合はせて見ると、それは何でも二三日前のことで、つい、昨日迄はまだ一里先の宿場町の宿屋に泊つてゐたらしいのでした。それだけ分ると平太郎はもうぢつとしては居られなくなりました。

彼は、爺さんからたのまれた買物なぞはすつぱらかして置いて、それからすぐ町の方へと駈け出して行きました。もとより山歩きには慣れてゐる平太郎のこですから、一里位の道を走ることはわけのないことでした。しかし、町へ着いて三四軒の宿屋で訊いて見ると、今朝その猿を連れた男は出發して了つたとのことでした。平太郎は多少失望はしましたが、それでもなか〳〵勇氣は挫けませんでした。それからまた、東に走る國道をとつて、次の宿場町へと急ぎました。

それは丁度午後の三時頃でした。町の通りのあるところで、ふと人が群をして、何やら騒いでゐるのを見つけました。で若しやと思つて、その方へ近づいて行くと、夫婦らしい男女が路傍で二疋の猿にいろ〳〵の藝當をさせてゐるところでした。人込みを押分けて入つた平太郎の視線が吸ひ寄せられるやうに行つたのはその傍で寂しげに哀しげに悄然として笑つてゐる一疋の猿でした。その瞬間、猿の方でも驚きにうたれたやうな眼つきをして、平太郎の方を見やつてゐるのでした。

すると、平太郎はいきなり、人間とも獸とも分らぬやうな叫び聲を發しました、と、殆んど同時に、猿の方でも異樣の叫び聲をあげて、飛びついて來ました。そこにゐた人たちは驚き恐れて左右に飛び退きました屹度、猿が怒つて飛び蒐つて行つたのに違ひないと思つたからでした。猿廻しの夫婦もびつくりして平太郎の方へ駈け寄りました。が、平太郎と件の猿とが丁度暫く會はなかつた友達同志でもあるかのやうに堅く抱きつき會つて、さうして頻りと頬ずりを仕合つたりなぞして歡んでゐるのを見ると、二人とも異樣な眼を光らして更らに驚きを增さずにはゐられないのでした。

『おい！お前は何だね？おれの猿をかまつてくれちや困るぢやねえか』と、その人相のよくない野師のやうな男が怒つたふくれ顏をして斯う言ひました。

平太郎や猿は夢中になつてゐるので、さうした聲は聞ないらしく、人の前をも忘れて、堅く抱き合つたまゝ少しも離れないのでした。餘りと云へば餘りの不思議な光景に、流石の夫婦もあきれて了つて、暫くはぼんやりと突立つて眺めてゐるのでした。

しかし、いつまで續くか分らないと見ると、男は强く平太郎の肩を小突くやうにして、

『おい、離さねいか、馬鹿な眞似をするのは止せやい！』と、怒鳴りつけました。そして、猿の頸筋を摑んで平太郎の手からひき離さうとしました。

『好いぢやねいか、こいつはおいらの長い間の友達ぢやねいか、おいらそれで會いたいと思ふて、お前等を追つかけて來たんだぜ』と、平太郎は怒りを含ませた泣聲で云ひました。

すると、不思議なことには、さつきからぢつと平太郎の顏に見入つてゐた女の方が頻りに男の袖をひつぱつて、何やら訴へやうとしてゐるのでした。それに氣付いた男が、女の方へ振向くと、二人は早口に二言三言話し合ひました。そして見る〳〵うちに夫婦の顏色が變つて行きました。

いつしか、男は女と一緒になつて、猿と共に平太郎の身體をも抱き寄せるやうにして、さうしてぽろ〳〵と人目も恥ぢず涙をこぼしてゐるのでした。

平太郎もあつけにとられましたが、そこにゐた人達は一層あつけにとられました。

× × × × × ×

その夫婦と云ふのは平太郎の兩親なのでした。數年前に山へ捨てたのが猿のなかだちによつて再び邂逅つたやうなわけなのでした。かく獸類にでも情愛のあることを知つた夫婦は、その後、猿廻し稼業を止め、一生懸命になつて平太郎を育てるやうになつたと云ふことです。

研究會の旨趣目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主とする間接機關でありますが研究と共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評と相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員とし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名並に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要と認めたるとき又は評議員五名以上の請求ありたるとき開くのです評議員會は今日までに既に五回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以てこれに充て會費は贊助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

◉關東州の鹽業　附朝鮮の鹽業
〇〇〇〇〇〇

滿鐵會社調査課出版の滿鐵調査資料第十三篇として發行せられしもの而して其の編者は調査課員大倉一郎氏なり

◉御手のまゝ　故高橋熊藏氏著
〇〇〇〇〇

著者高橋氏は久しく朝鮮平壤に在りて傳道に努めたる人格高き眞面目の人なりしが此人遂に逝く本書はその故人の面影を彷彿せしめて遺憾なきを覺ゆ

◉滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、泰東日報、週刊「極東」、日滿通信、滿蒙の文化、讀書會雜誌、新天地、遼友、滿蒙實業彙報、滿鐵「調査彙報」、滿洲建築協會雜誌、滿洲公論、日華之貿易、滿洲經濟時報、關東新聞、赤陽、滿洲教報、聖德會々報、大連コドモ新聞(以上大連)◉順律報(漢文)旅順◉大陸日日新聞、奉天毎日新聞、滿蒙經濟時報、新滿洲(以上奉天)◉商業會議所月報、滿鮮縱横公論(以上安東)◉商業會議所月報(長春)◉貝加爾新聞(滿洲里)◉支那研究彙錄(北京)◉大乘(上海)◉山東公論、濟南日報(以上濟南)◉青島新報、青島實業協會月報(以上青島)◉京城日報、朝鮮新聞、朝鮮銀行月報、朝鮮及滿洲、青年(諺文)、新生活(同)(以上京城)◉釜山日報(釜山)◉臺灣時報、臺灣月報(以上臺灣)◉臨時産業調査局資料、滿鐵東亞經濟調査局經濟資料、東洋、支那、大鵬、大日本、經濟時論、東京商業會議所所報、日本佛教新聞、靈政、日華之實業、愛國婦人戰友、我が家(以上東京)◉紡績界(大阪)◉東亞經濟研究(山口)◉福岡日日新聞(福岡)

毎月一回發行

定價表

普通號六拾錢、特別號七拾錢

冊數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割增

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

◉三回以上は割引可仕候◉年極めは特別に御相談可致候

◉〆切りは前月二十日限り

大正十二年五月一日發行

發行人　山田武吉

編輯人　大內四郎

印刷人　太田信三

印刷所　小林又七支店
大連市大山通七十四號地

發行所(電話五四二六番)　滿洲社會事業研究會
大連市霧島町ヌ區十六號地
振替口座大連一二三九番

本店　東京市麴町區有樂町一丁目一番地

支店　京城、奉天、大連、哈爾賓、青島

出張所　朝鮮（京城、水原、江景、金堤、榮山浦、大邱、馬山、沙里院、平壤、元山）、下ノ關、間島

東洋拓殖株式會社

支店

電話（長）七一四七番
（長）七一四九番
振替口座大連一九七八番
受信略號タイレン、トタク

奉天支店

電話（長）六五七番
（長）三九七番
振替口座大連一九六八番
受信略號ホウテン、トタ

營業科目

一、拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ貸付
一、農業、水利事業及土地ノ經營
一、農業者ニ對シ其ノ必要ナル物品ノ供給及其ノ生産物品ノ分配
一、移住民ニ關スル業務
一、委託ニ因ル土地ノ經營及管理
一、其他拓殖ノ爲メ必要ナル事業ノ經營
一、定期預リ金

遼東新報

●遼東新報は滿洲に於ける邦字新聞の鼻祖にしに大陸發展の急先鋒なり之を讀まざれば以て滿洲●
●經營を談ずべからず之を讀まざれば以て大陸發展を期すべからず啻に滿洲若くは亞細亞大陸の●
●事のみならず世界萬般の出來事は揭げて紙上に在り之を讀まざるものは即ち天下の落伍者なり●

大連敷島町
遼東新報社

日刊

大連新聞

●不偏不黨●

●嚴正中立●

大連淡路町
大連新聞社

大正十一年八月十五日(第三種郵便物認可)
大正十二年五月一日發行(毎月一回一日發行)